

豊橋市身体障害者福祉センター（仮称）
建設に伴う電気設備工事

N-560201 昭和56年5月

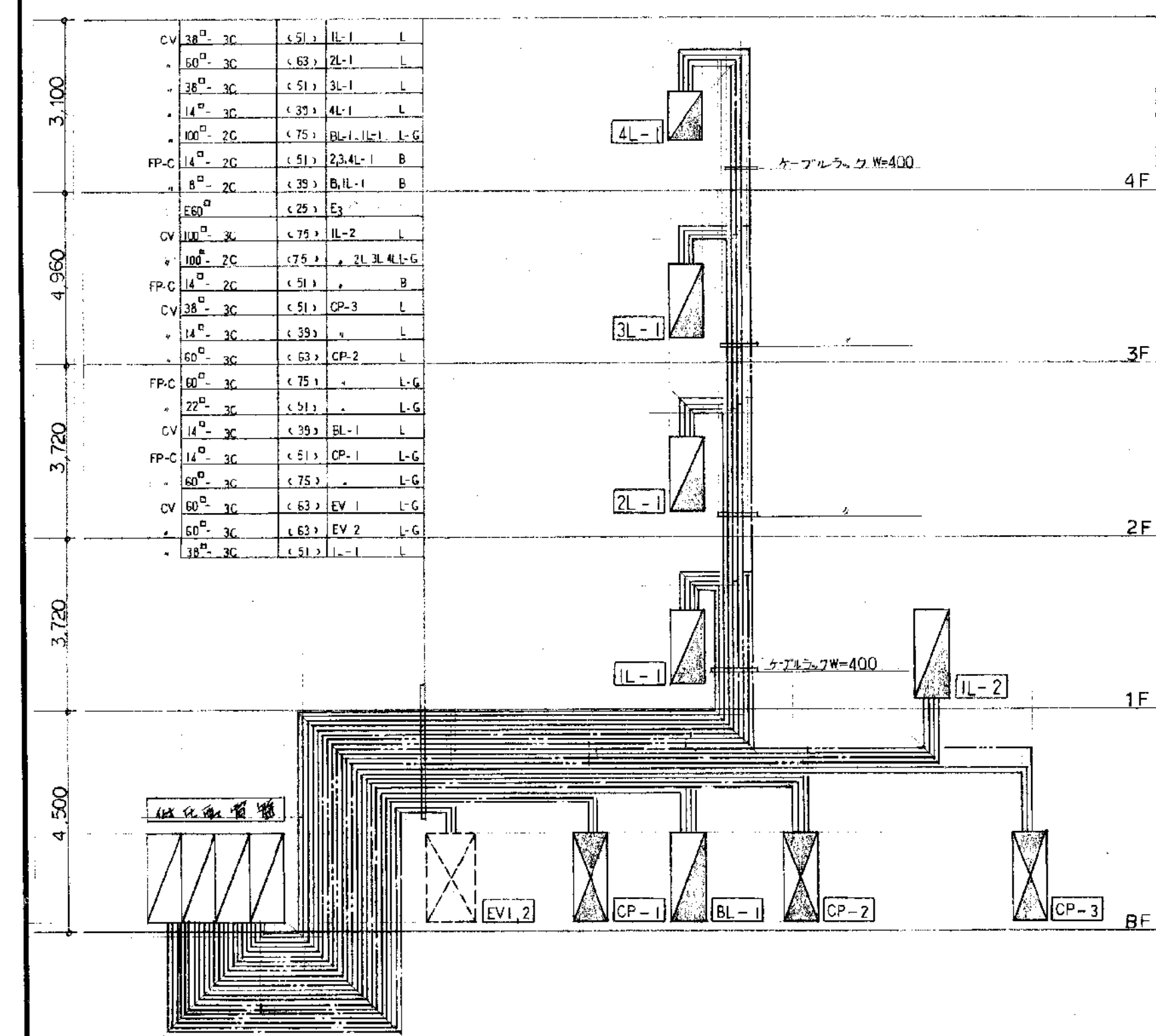
豊橋市建設部建築課

株式会社 日建設計

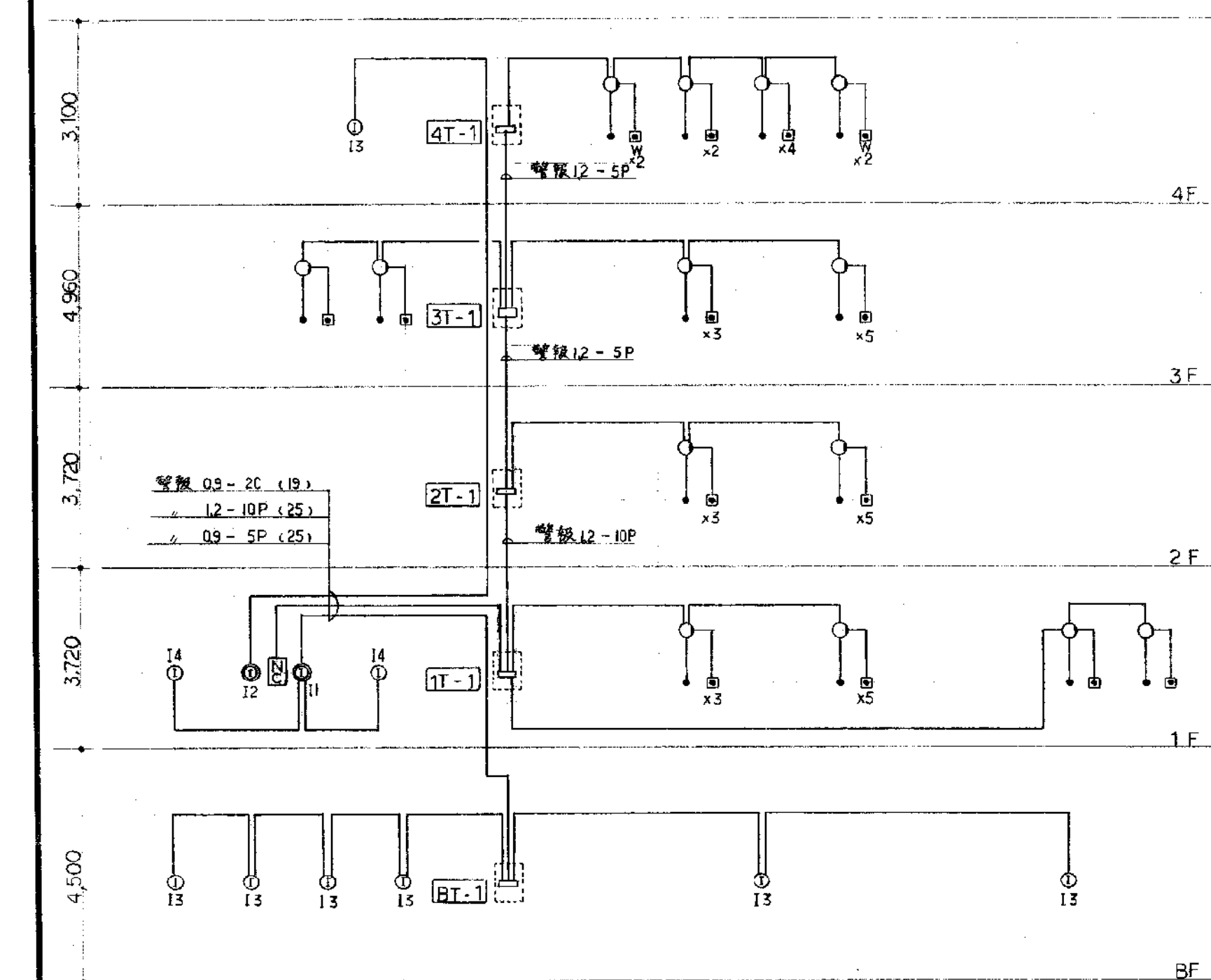
図 面 リ ス ト			
番 号	図 面 名 称	番 号	図 面 名 称
1	建築概要 建物種別 建築概要 建物区分表 X-H-12		
2	幹線電路配置 放送台 非常用電源 非常用電源 非常用電源		
3	種別電路表示 電化装置 100V 種別電路表示 電化装置 100V		
4	幹線電路 100V 100V 電路 100V		
5	〃 〃 1階 〃		
6	〃 〃 2階 〃		
7	〃 〃 3階 〃		
8	〃 〃 4階 居住用 〃		
9	電力 100V 電路 100V		
10	〃 1階 〃		
11	〃 2階 〃		
12	〃 3階 〃		
13	〃 4階 居住用 〃		
14	電力 100V 電路 100V		
15	〃 1階 〃		
16	〃 2階 〃		
17	〃 3階 〃		
18	〃 4階 居住用 〃		
19	電力 100V 電路 100V		
20	〃 〃 〃 1階 〃		
21	〃 〃 〃 2階 〃		
22	〃 〃 〃 3階 〃		
23	〃 〃 〃 4階 居住用 〃		
24	受変電設備 結線図		
25	電力 100V 電路 100V 電力 100V 電路 100V		
26	電力 100V 電路 100V 電力 100V 電路 100V		
27	照明器具 電路		
28	電力 100V 電路		
29	電力 100V 電路 100V 電力 100V 電路 100V		

[illegible]

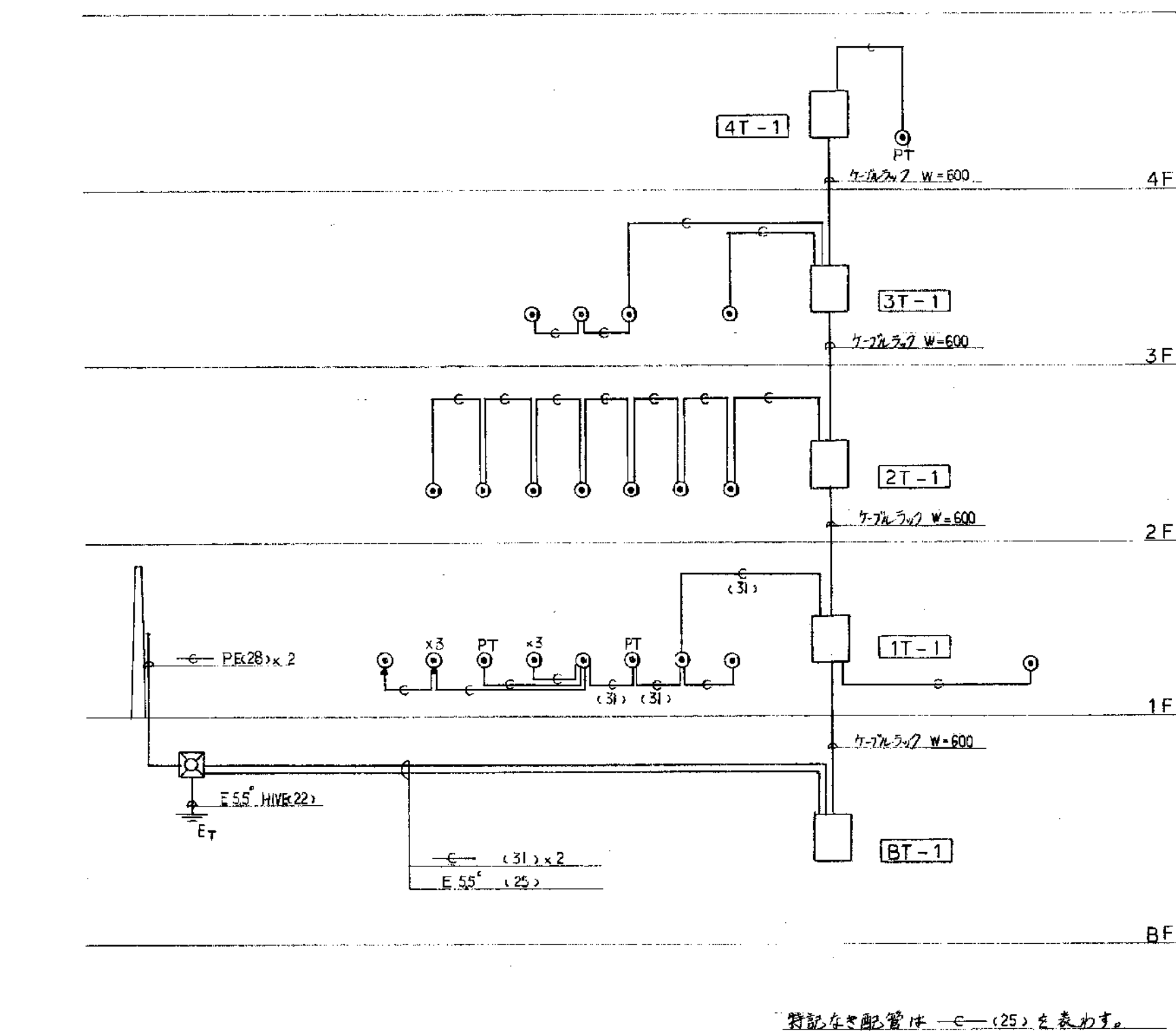
1 無線系統図



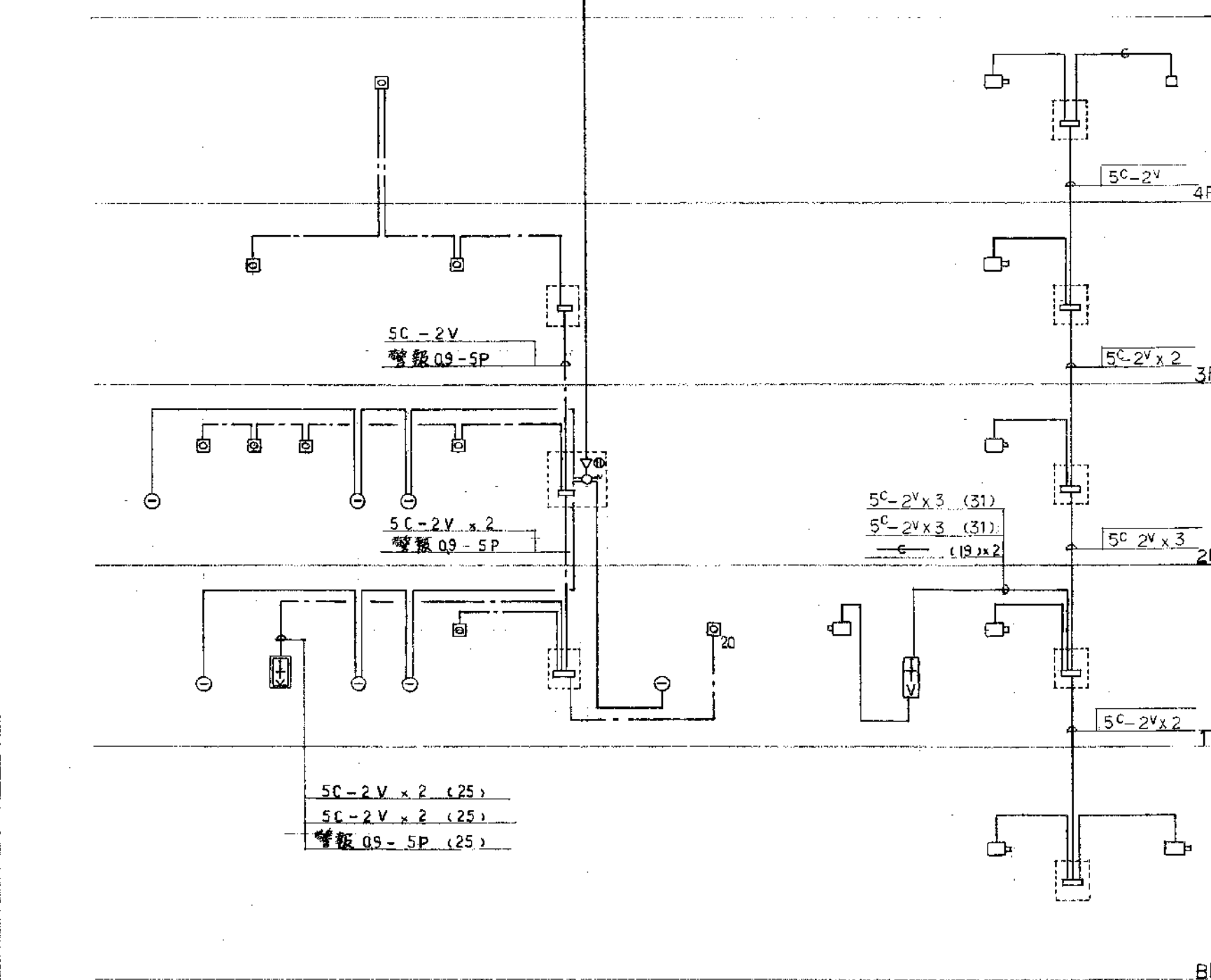
4 インターホン系統図



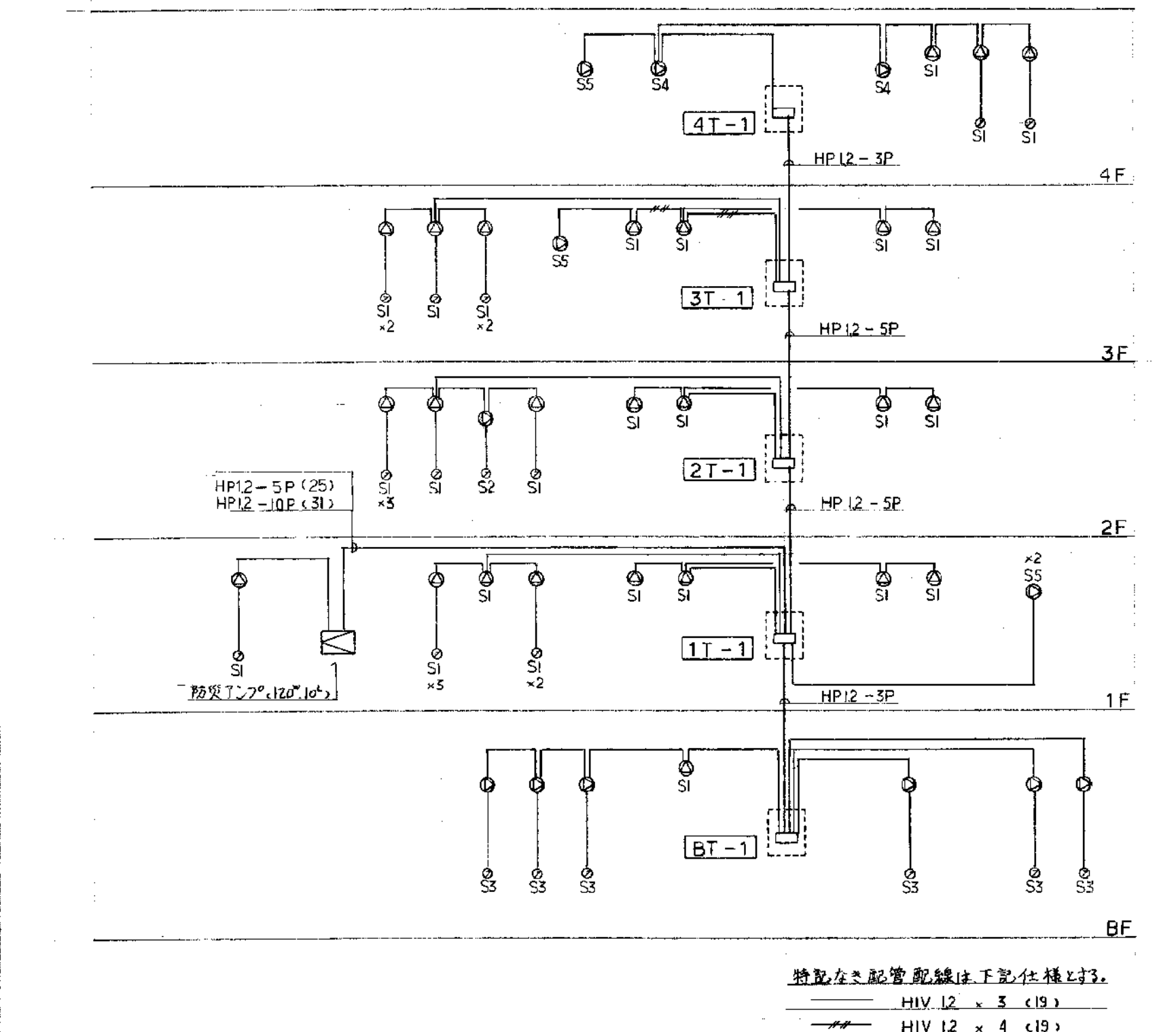
2 電話配管系統図



5 TV放送用エレベーター系統図



3 放送系統図



6 凡例・端子配数表

記号	名称	備考
⊗	動力別電線	
⊙	電灯分電盤	
⊕	端子盤	
⊖	ハンドホール	
⊗	接地	
⊙	電話用リフト	床壁
⊗	防突シフト	
⊙	スビーカー	壁・天井
⊗	インターホン	鏡・手拭
⊙	非常呼出装置	
⊗	廊下表示灯	
⊙	後援ボタン	
⊗	上エレベーター	床壁
⊙	F M アンテナ	BL 電線と端子
⊗	U H F	20号
⊙	V-U 混合器	床壁
⊗	アンプ	20号
⊙	4分配器	
⊗	TV用リフト	
⊙	V A 2 端子	
⊗	テレビカメラ装置	
⊙	テレビモニター	14号
⊗	1 T V 端子	20号
⊙	カメラ	

端子盤	BT-1	1T-1	2T-1	3T-1	4T-1
電話(20号)	30P	30P	20P	10P	10P
電話(20号)	30P	70P	50P	40P	30P
放送	20P	70P	20P	20P	40P
放送	10P	20P	10P	10P	10P
インターホン	10P	—	—	—	—
非常呼出	—	20P	20P	10P	10P
TV放送	—	50P	20P	—	—
テレビカメラ	—	10P	10P	10P	—
ITV	10P	20P	10P	10P	5P

日建設計

昭和56年5月

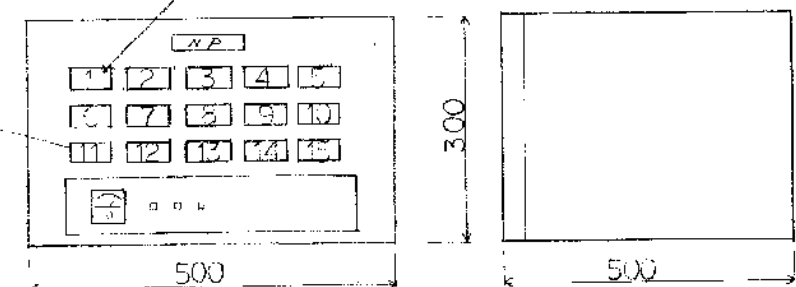
豊橋市建設部建築課

豊橋市建設部建築課

豊橋市建設部建築課

後援設備表示用図

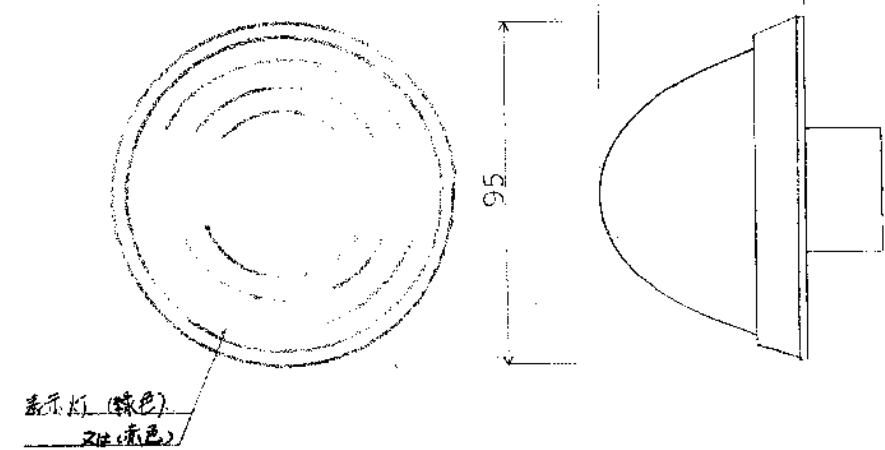
表示「123」



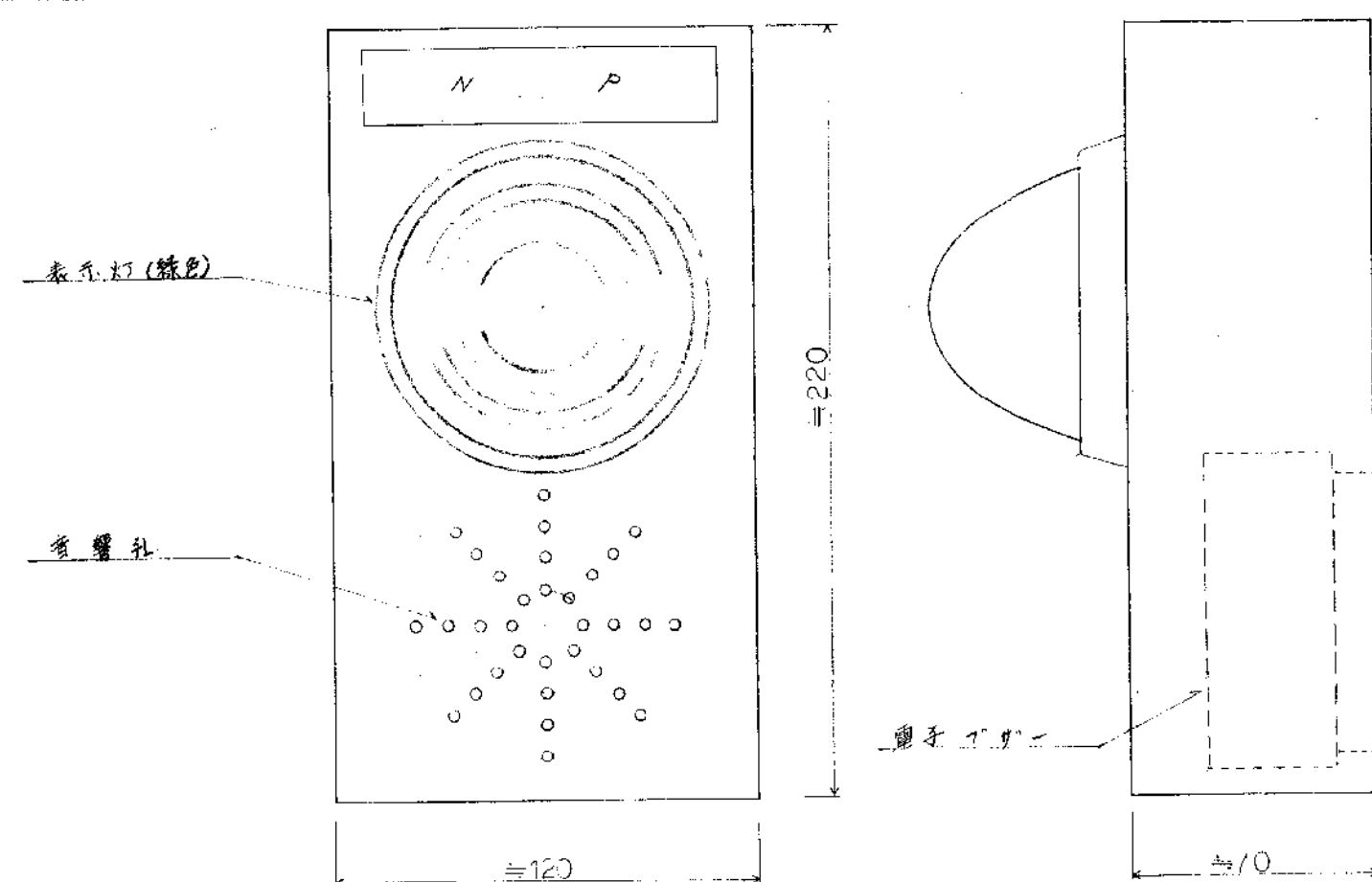
1. 主電源: AC 100V
平衡電流: DC 24V (2A) - 5A 電流 50W 以下
回路電圧: DC 24V
2. 受信: 1.6mm 厚鋼板製 電機制御上
3. 多機能:
- 消防: 消防用電源 (消防用電源) 電圧 24V
- 消防: 消防用電源 (消防用電源) 電圧 24V
- 消防: 消防用電源 (消防用電源) 電圧 24V

後援設備表示用図	表示用図	表示用図	表示用図	表示用図	表示用図
1 BF	1 BF	1 BF	1 BF	1 BF	1 BF
2 BF	2 BF	2 BF	2 BF	2 BF	2 BF
3 BF	3 BF	3 BF	3 BF	3 BF	3 BF
4 BF	4 BF	4 BF	4 BF	4 BF	4 BF
5 BF	5 BF	5 BF	5 BF	5 BF	5 BF
6 BF	6 BF	6 BF	6 BF	6 BF	6 BF
7 BF	7 BF	7 BF	7 BF	7 BF	7 BF
8 BF	8 BF	8 BF	8 BF	8 BF	8 BF
9 BF	9 BF	9 BF	9 BF	9 BF	9 BF
10 BF	10 BF	10 BF	10 BF	10 BF	10 BF
11 BF	11 BF	11 BF	11 BF	11 BF	11 BF
12 BF	12 BF	12 BF	12 BF	12 BF	12 BF
13 BF	13 BF	13 BF	13 BF	13 BF	13 BF
14 BF	14 BF	14 BF	14 BF	14 BF	14 BF
15 BF	15 BF	15 BF	15 BF	15 BF	15 BF

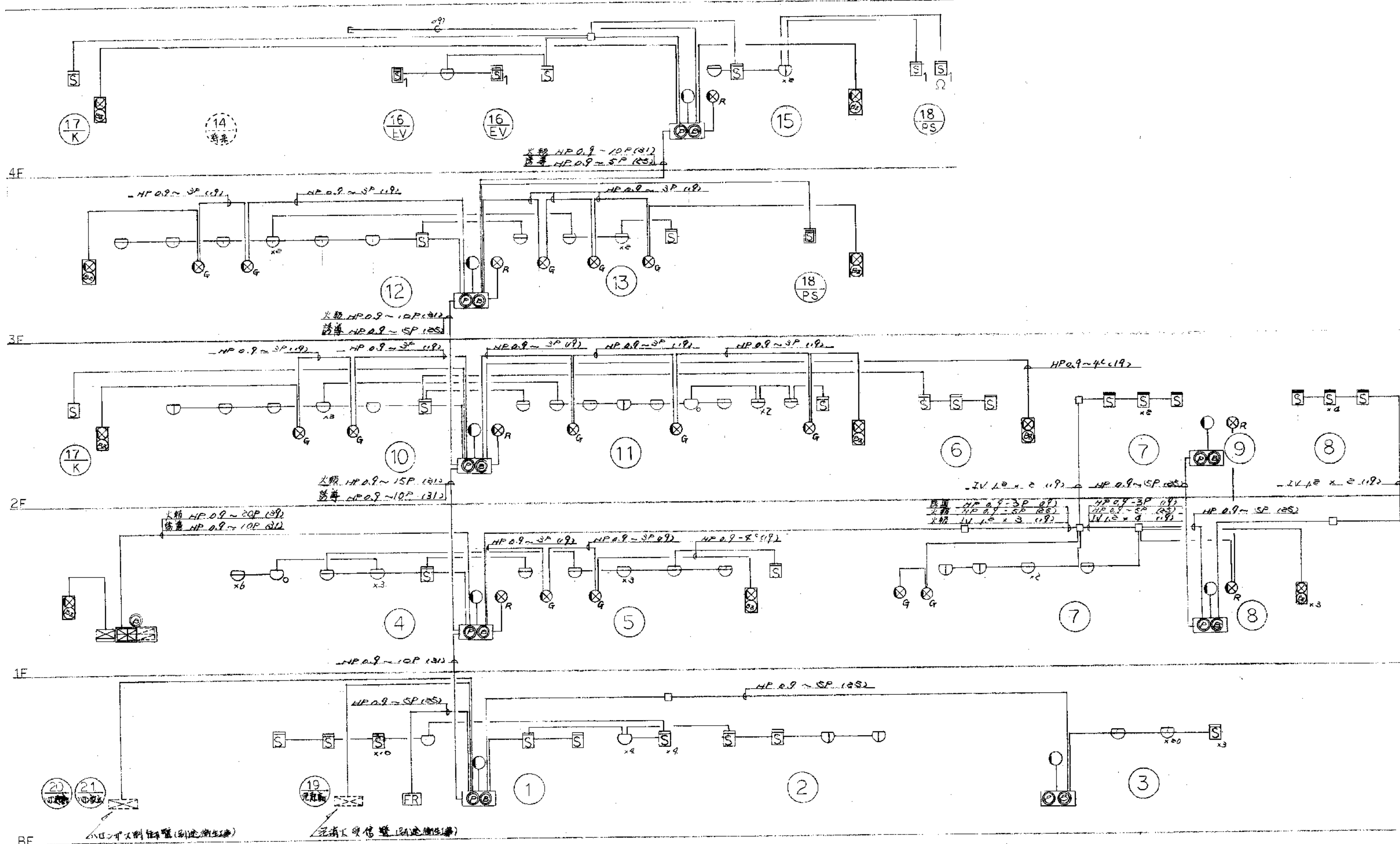
後援設備表示用図



後援設備表示用図

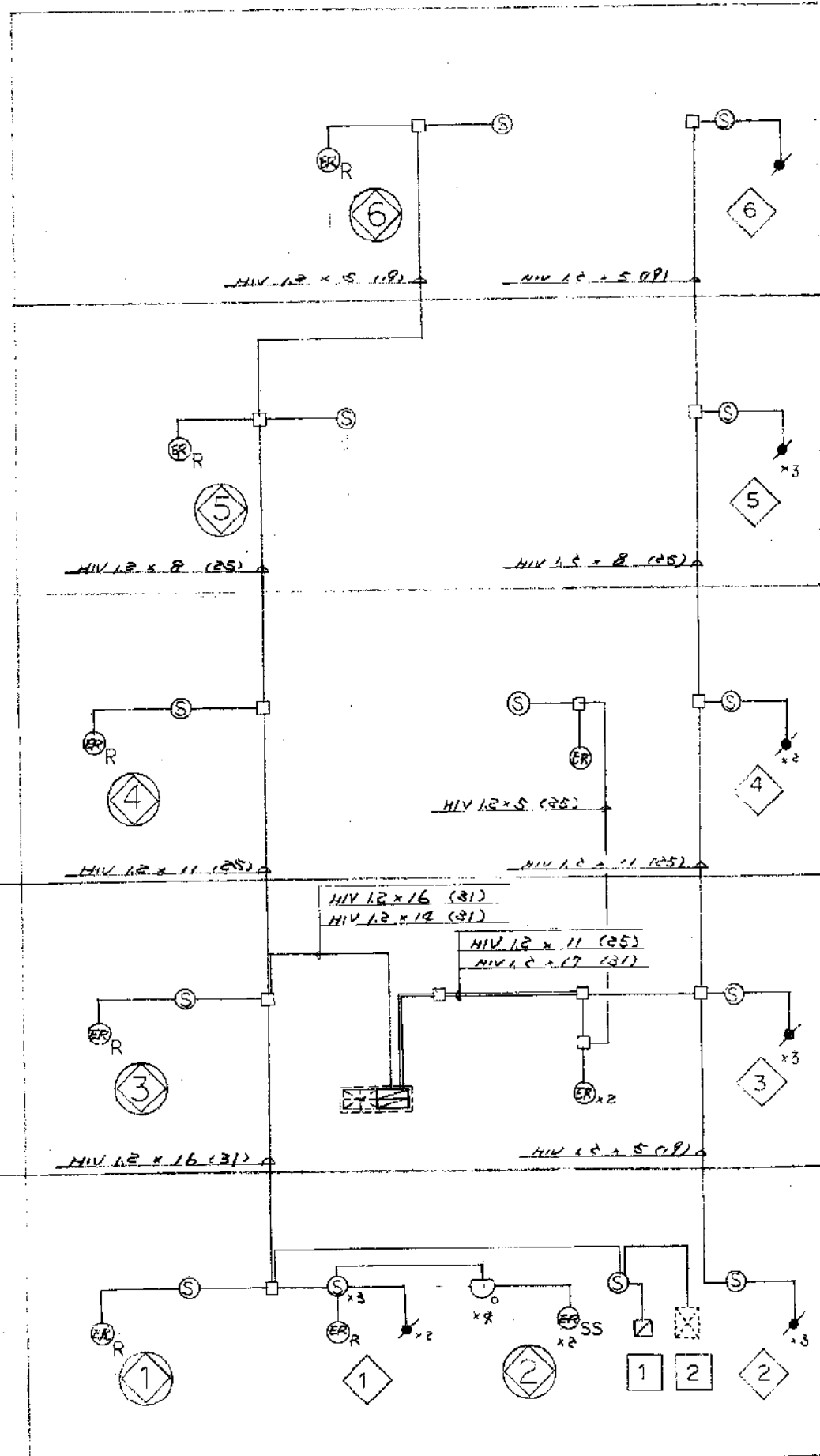


直火設備表示用図



直火設備表示用図

防煙設備表示用図



記号	名称	仕様
1	直火設備表示用図	直火設備表示用図
2	直火設備表示用図	直火設備表示用図
3	直火設備表示用図	直火設備表示用図
4	直火設備表示用図	直火設備表示用図
5	直火設備表示用図	直火設備表示用図
6	直火設備表示用図	直火設備表示用図
7	直火設備表示用図	直火設備表示用図
8	直火設備表示用図	直火設備表示用図
9	直火設備表示用図	直火設備表示用図
10	直火設備表示用図	直火設備表示用図
11	直火設備表示用図	直火設備表示用図
12	直火設備表示用図	直火設備表示用図
13	直火設備表示用図	直火設備表示用図
14	直火設備表示用図	直火設備表示用図
15	直火設備表示用図	直火設備表示用図
16	直火設備表示用図	直火設備表示用図
17	直火設備表示用図	直火設備表示用図
18	直火設備表示用図	直火設備表示用図
19	直火設備表示用図	直火設備表示用図
20	直火設備表示用図	直火設備表示用図
21	直火設備表示用図	直火設備表示用図
22	直火設備表示用図	直火設備表示用図
23	直火設備表示用図	直火設備表示用図
24	直火設備表示用図	直火設備表示用図
25	直火設備表示用図	直火設備表示用図

日建設計

昭和56年5月

29-3

建設省

建設省

建設省

建設省

建設省

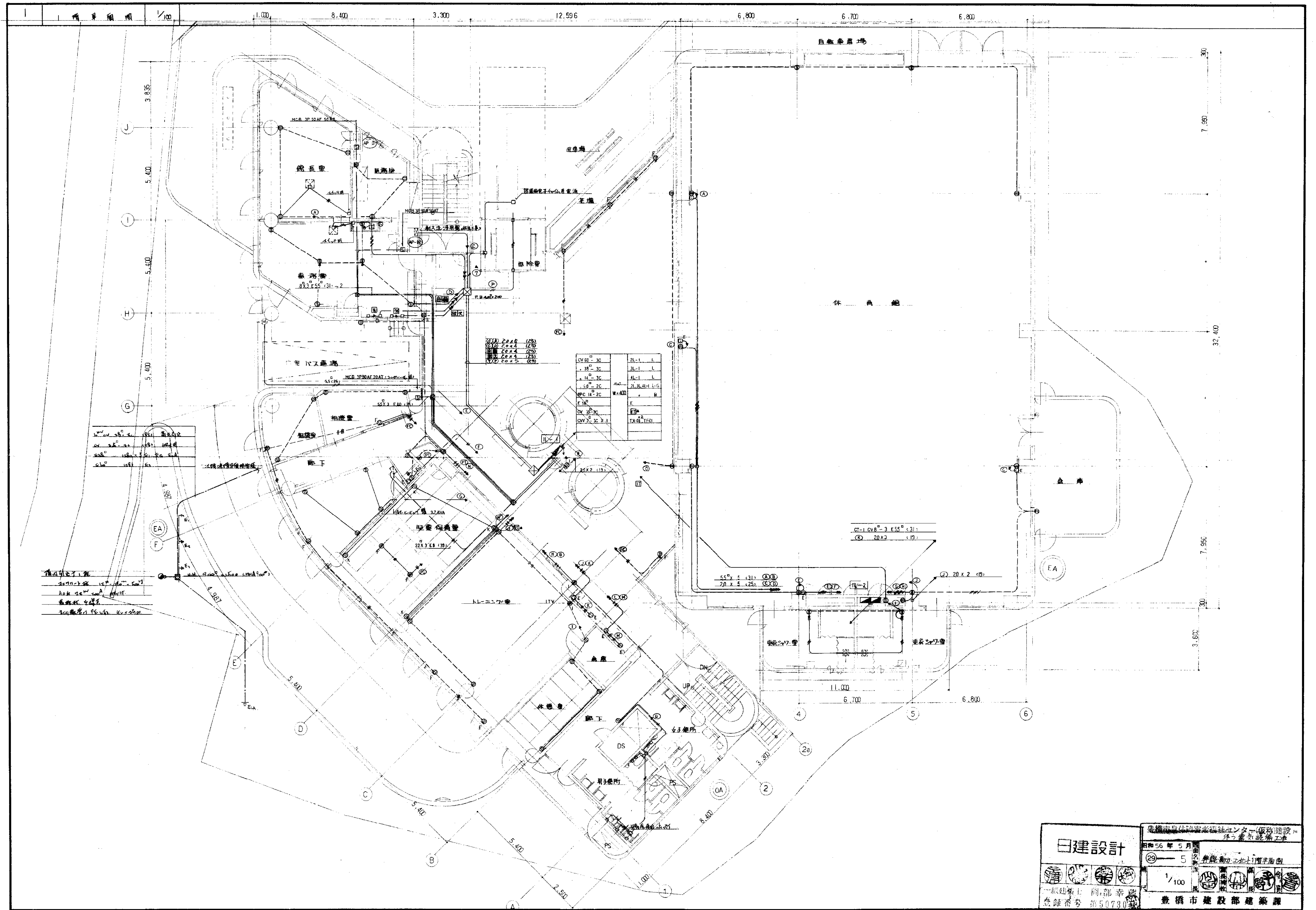
建設省

建設省

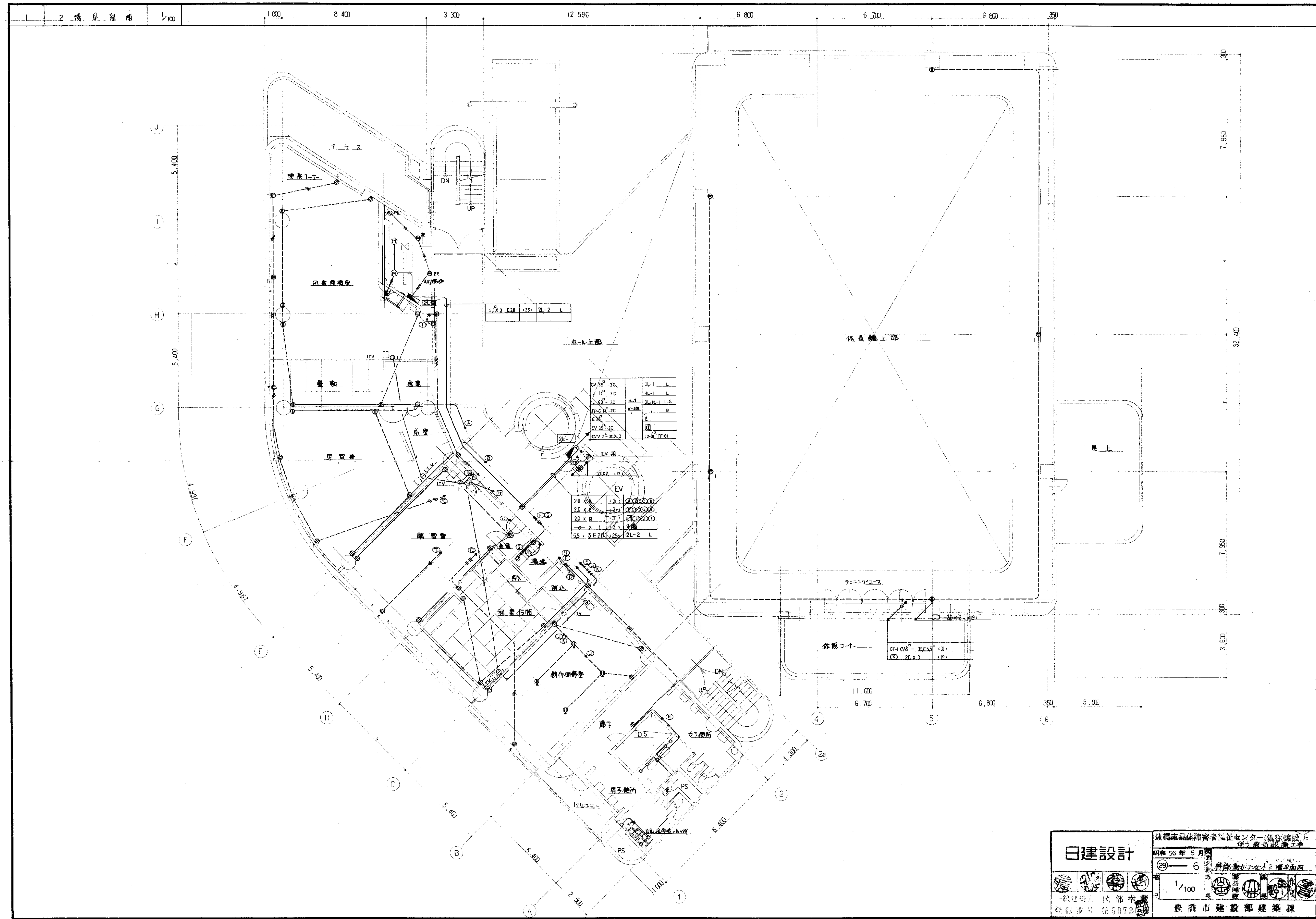
建設省

建設省

建設省



日建設計		豊橋市身体障害者福祉センター(仮称)建設に伴う電気設備工事	
昭和56年5月		29-5	
1/100		豊橋市建設部建築課	
一級建築士 岡部幸彦		登録番号 第50730号	



日建設計

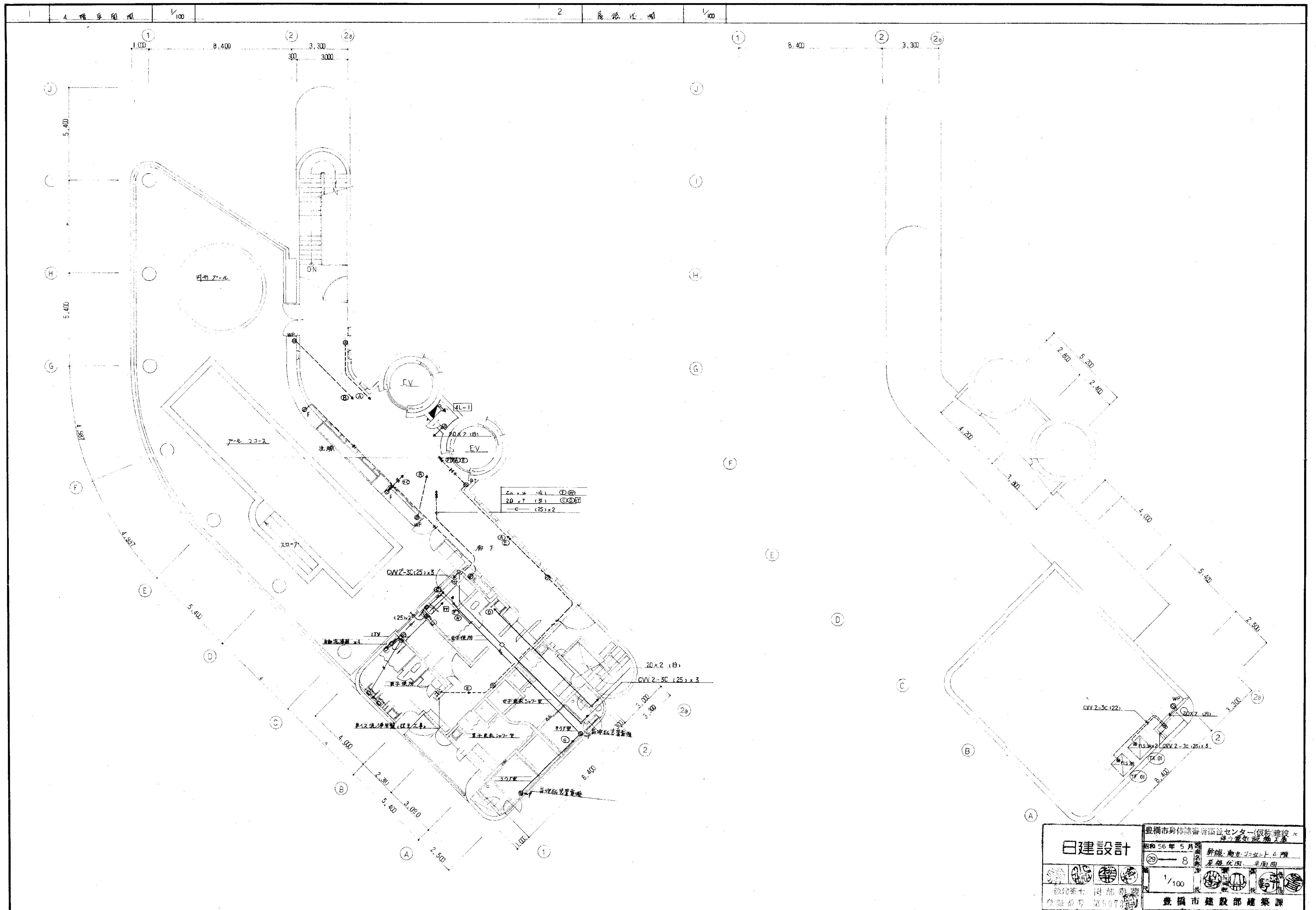
豊橋市身体障害者福祉センター(仮称)建設工事

昭和56年5月

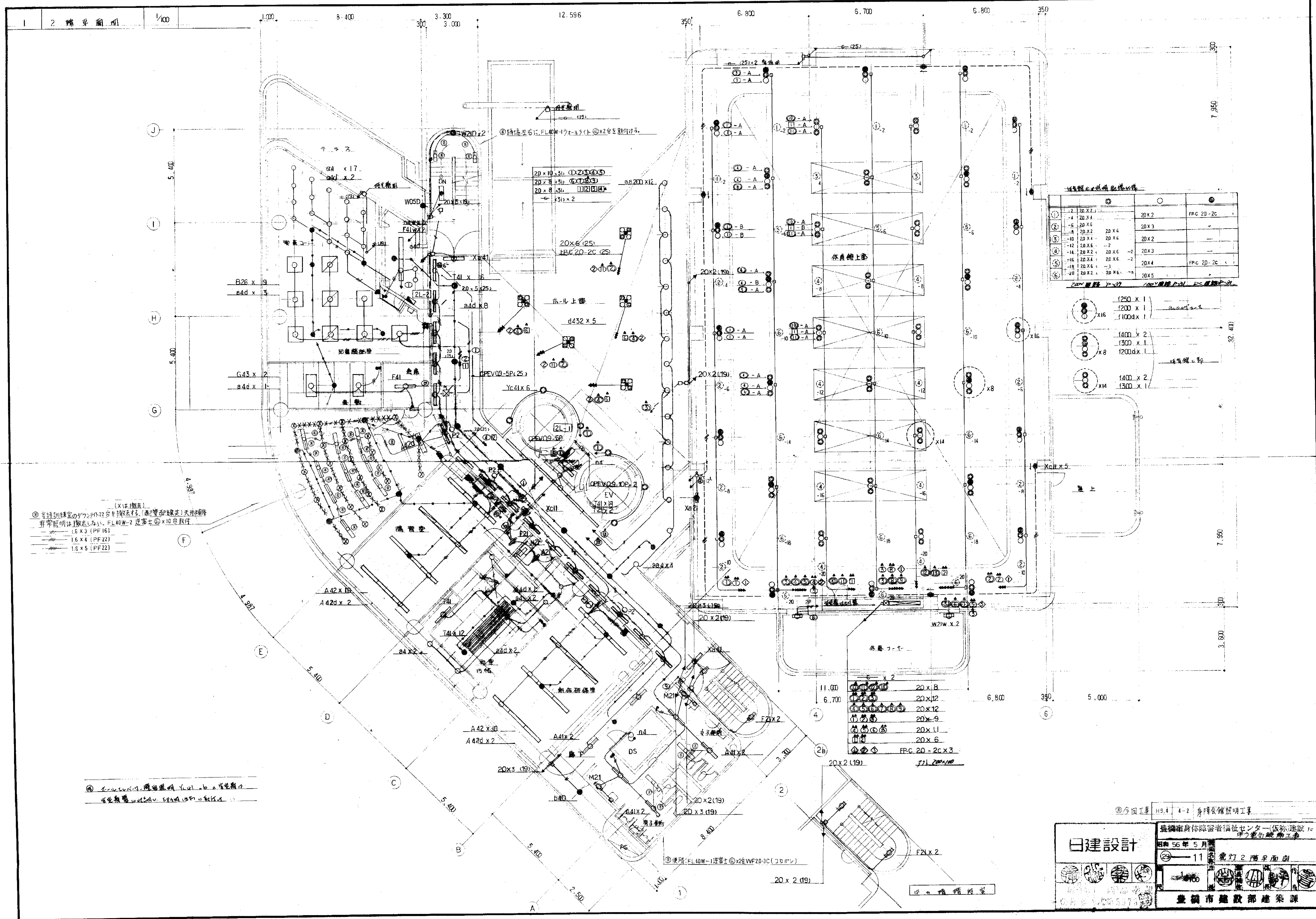
図名 2-6 身体障害者福祉センター2階平面図

1/100

豊橋市建設部建築課



日建設計		豊橋市身体障害者福祉センター(仮称)建設	
昭和56年5月		昭和56年5月	
(29) 8		設計: 豊橋市建設部建築課	
1/100		原図: 豊橋市建設部建築課	
豊橋市建設部建築課		豊橋市建設部建築課	



照明器具の仕様

記号	仕様	数量	備考
①	20 x 2	20 x 2	FPC 20-2C
②	20 x 4	20 x 3	
③	20 x 6	20 x 2	
④	20 x 8	20 x 2	
⑤	20 x 10	20 x 2	
⑥	20 x 12	20 x 2	
⑦	20 x 14	20 x 2	
⑧	20 x 16	20 x 2	
⑨	20 x 18	20 x 2	
⑩	20 x 20	20 x 2	
⑪	20 x 22	20 x 2	
⑫	20 x 24	20 x 2	
⑬	20 x 26	20 x 2	
⑭	20 x 28	20 x 2	
⑮	20 x 30	20 x 2	
⑯	20 x 32	20 x 2	
⑰	20 x 34	20 x 2	
⑱	20 x 36	20 x 2	
⑲	20 x 38	20 x 2	
⑳	20 x 40	20 x 2	

照明器具の仕様

記号	仕様	数量	備考
①	1250 x 1	1250 x 1	
②	1200 x 1	1200 x 1	
③	1400 x 2	1400 x 2	
④	1300 x 1	1300 x 1	
⑤	1200 x 1	1200 x 1	
⑥	1400 x 2	1400 x 2	
⑦	1300 x 1	1300 x 1	

照明器具の仕様

記号	仕様	数量	備考
①	20 x 8	20 x 8	
②	20 x 12	20 x 12	
③	20 x 16	20 x 16	
④	20 x 20	20 x 20	
⑤	20 x 24	20 x 24	
⑥	20 x 28	20 x 28	
⑦	20 x 32	20 x 32	
⑧	20 x 36	20 x 36	
⑨	20 x 40	20 x 40	
⑩	20 x 44	20 x 44	
⑪	20 x 48	20 x 48	
⑫	20 x 52	20 x 52	
⑬	20 x 56	20 x 56	
⑭	20 x 60	20 x 60	
⑮	20 x 64	20 x 64	
⑯	20 x 68	20 x 68	
⑰	20 x 72	20 x 72	
⑱	20 x 76	20 x 76	
⑲	20 x 80	20 x 80	

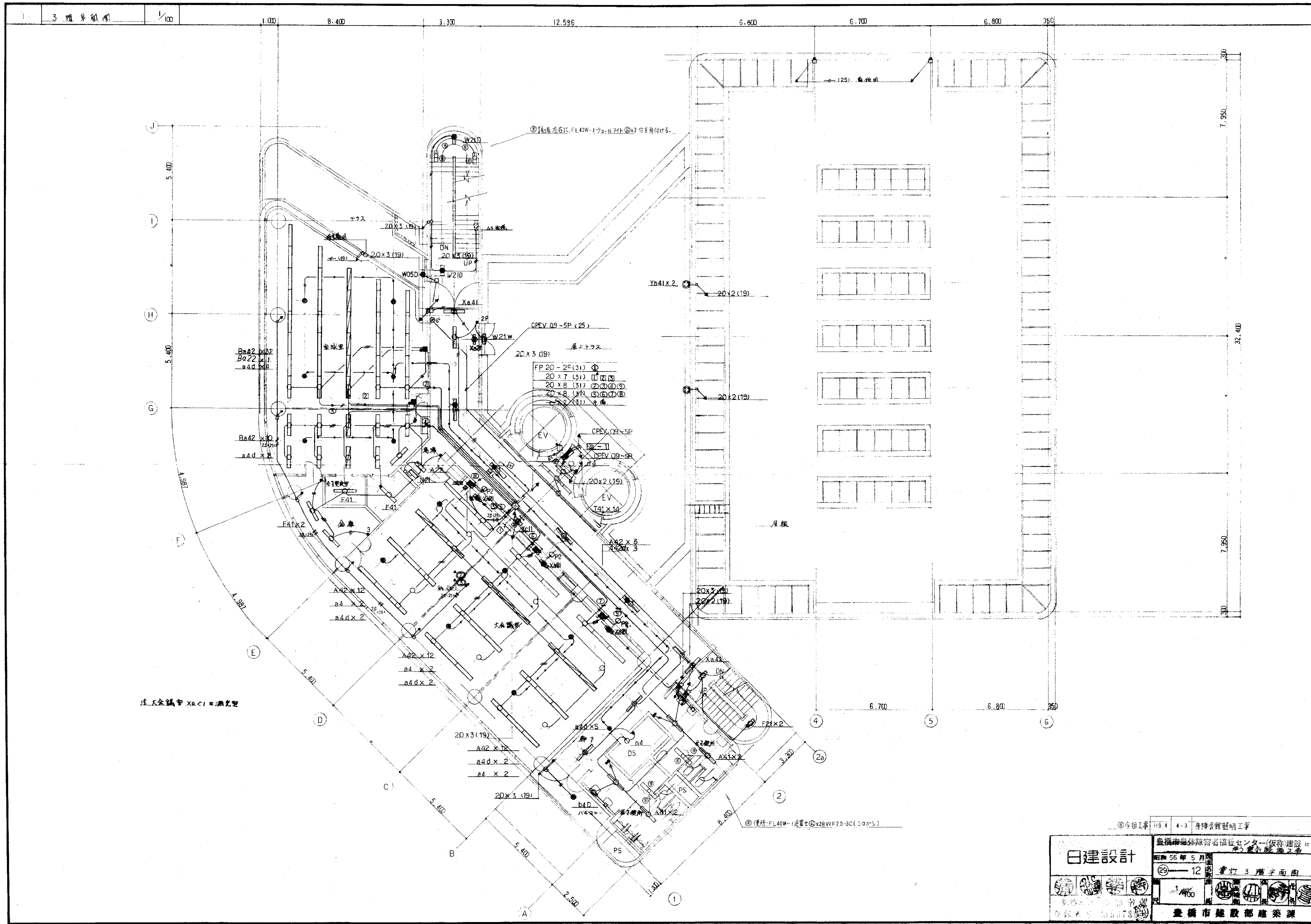
日建設計

豊橋市身体障害者福祉センター(仮称)建設工事

図面 56年 5月

11 電灯 2階平面図

豊橋市建設部建築課



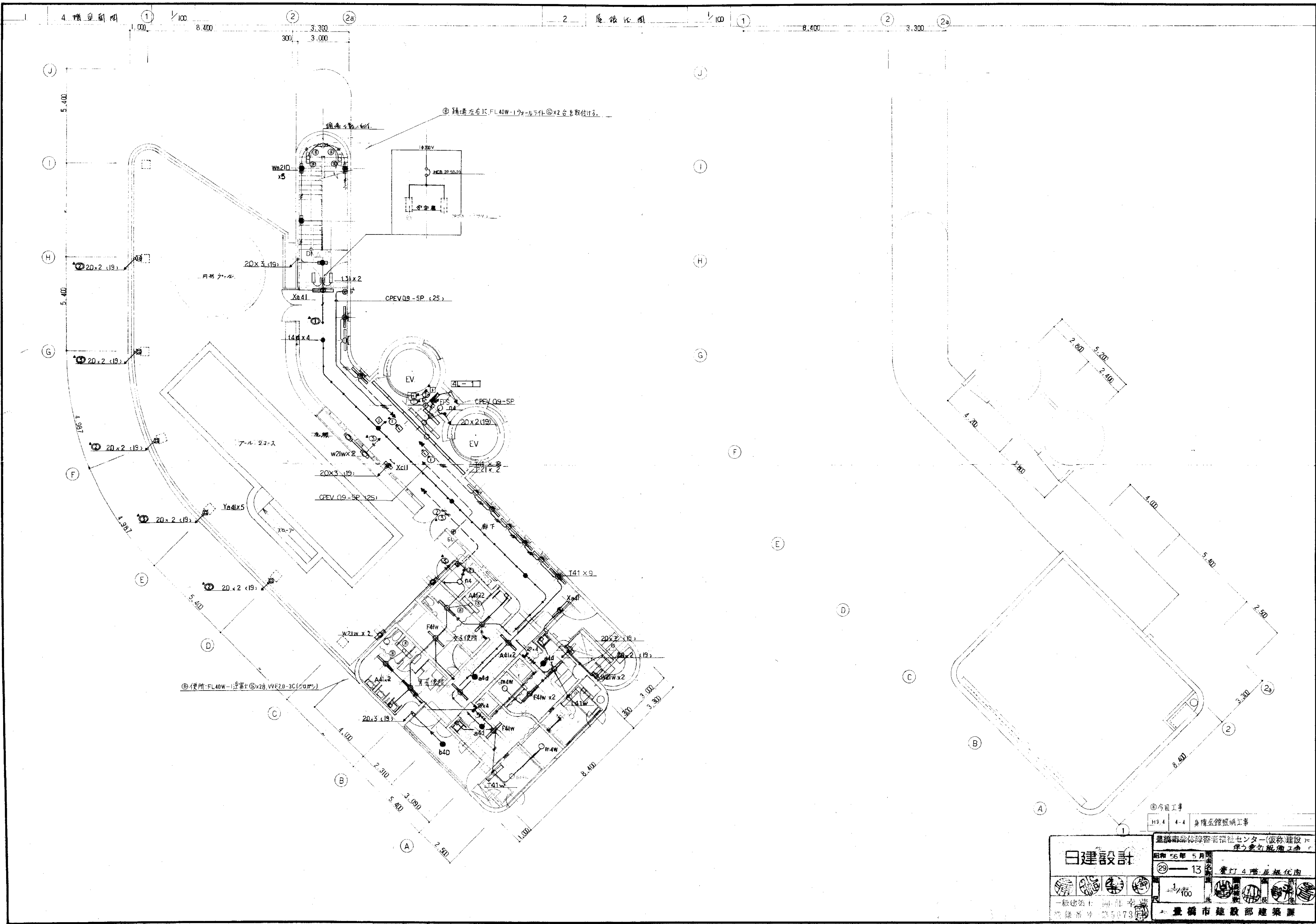
③今回工事 H5.4 4-3 身障者館照明工事

日建設計

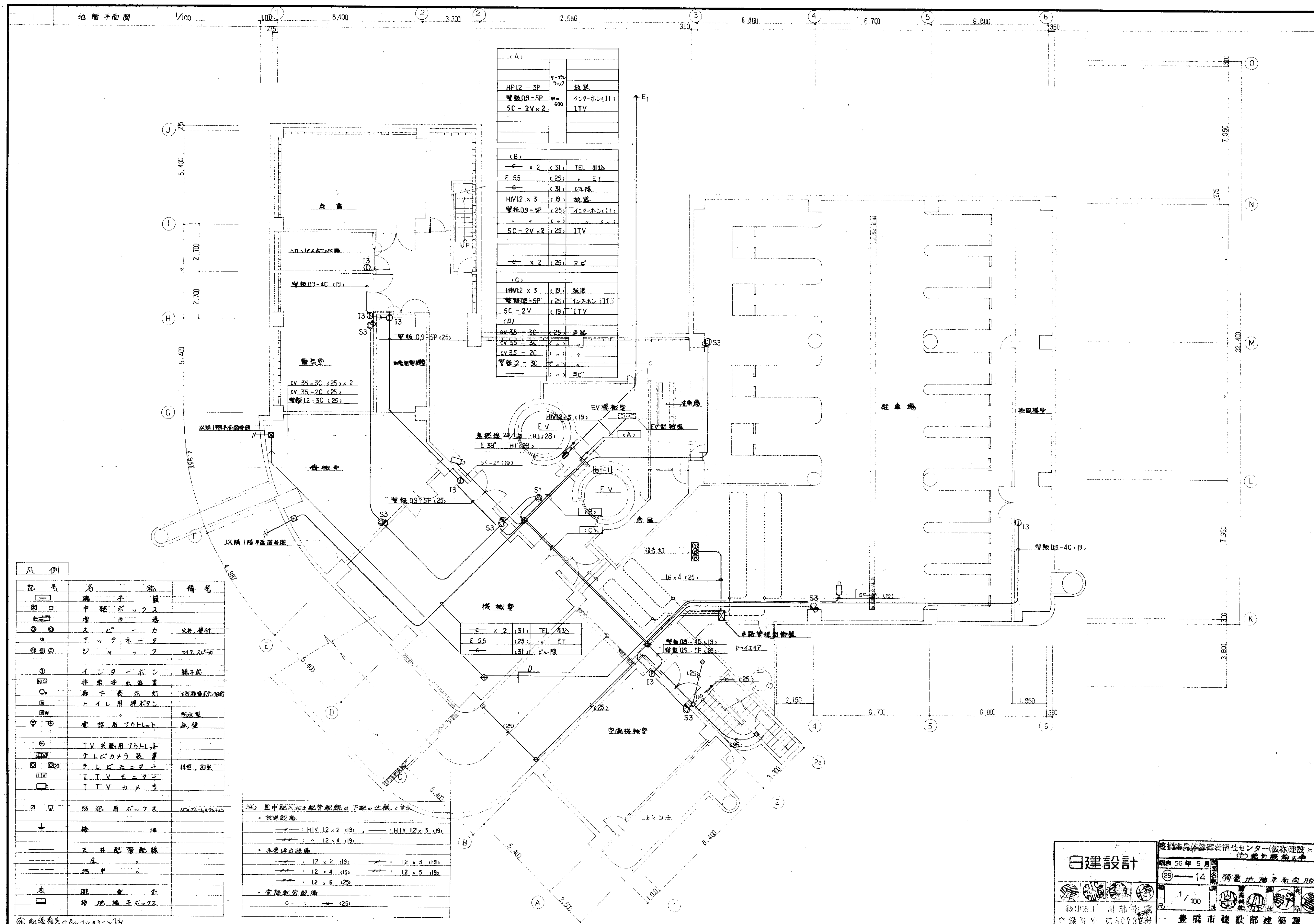
昭和 56 年 5 月

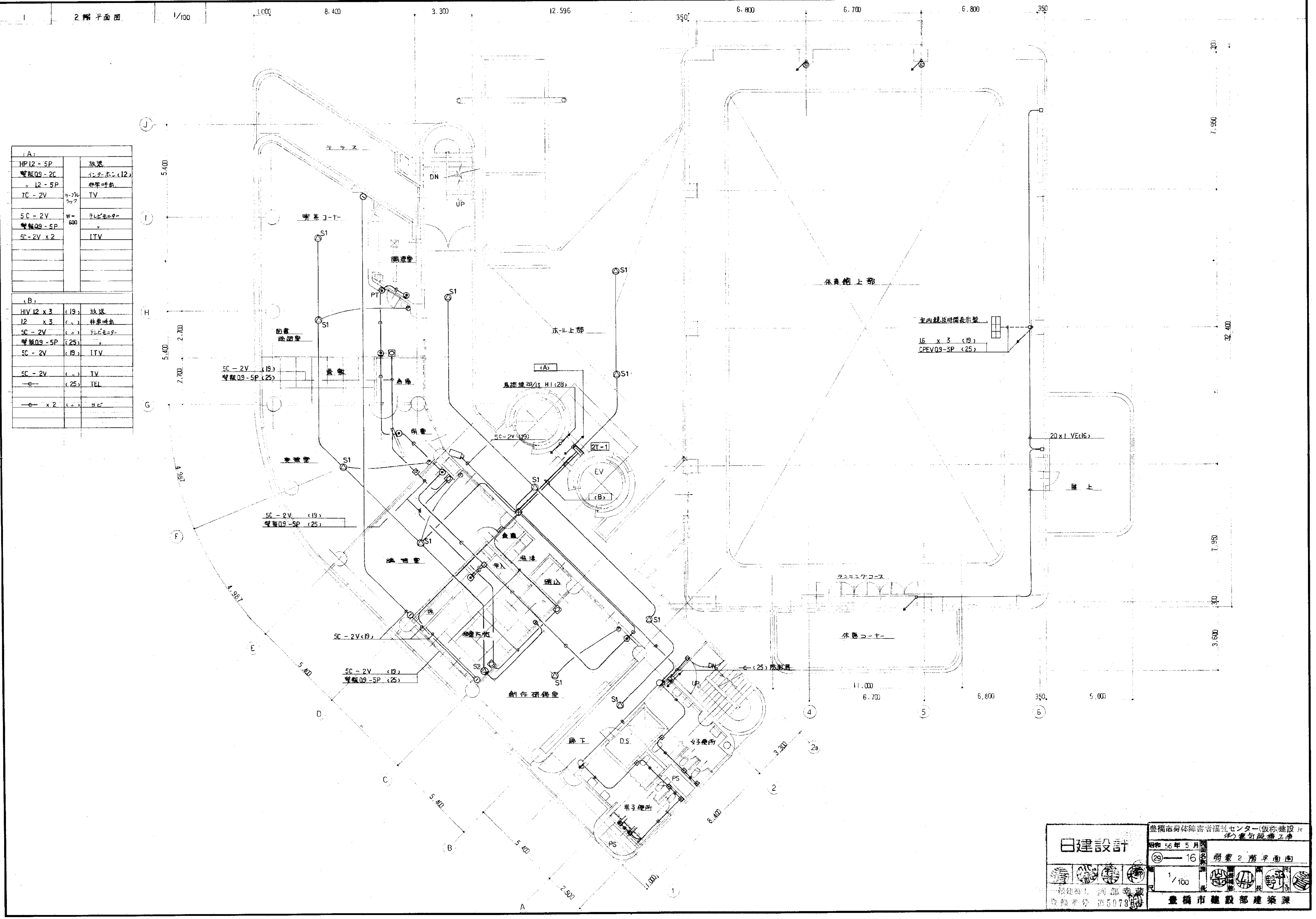
29-12 堂灯 3 階平面図

豊橋市建設部建築課



日建設計 昭和56年5月 1/100 一般建築士 岡田孝雄 登録番号 第5073号		② 13 豊橋市建設部建築課
③ 今回工事 H9.4 4-4 身障会館照明工事		豊橋市身障会館福祉センター(仮称)建設に伴う電気設備工事





(A)	
HP12-5P	放送
電話09-2C	インターホン(12)
12-5P	非常用灯
7C-2V	TV
5C-2V	テレビモニター
電話09-5P	
5C-2V x 2	ITV
(B)	
HP12 x 3	(19) 放送
12 x 3	(19) 非常用灯
5C-2V	(19) テレビモニター
電話09-5P	(25)
5C-2V	(19) ITV
5C-2V	(19) TV
-e-	(25) TEL
-e- x 2	(19) 電話

日建設計

豊橋市身体障害者福祉センター(仮称)建設に伴う電気設備工事

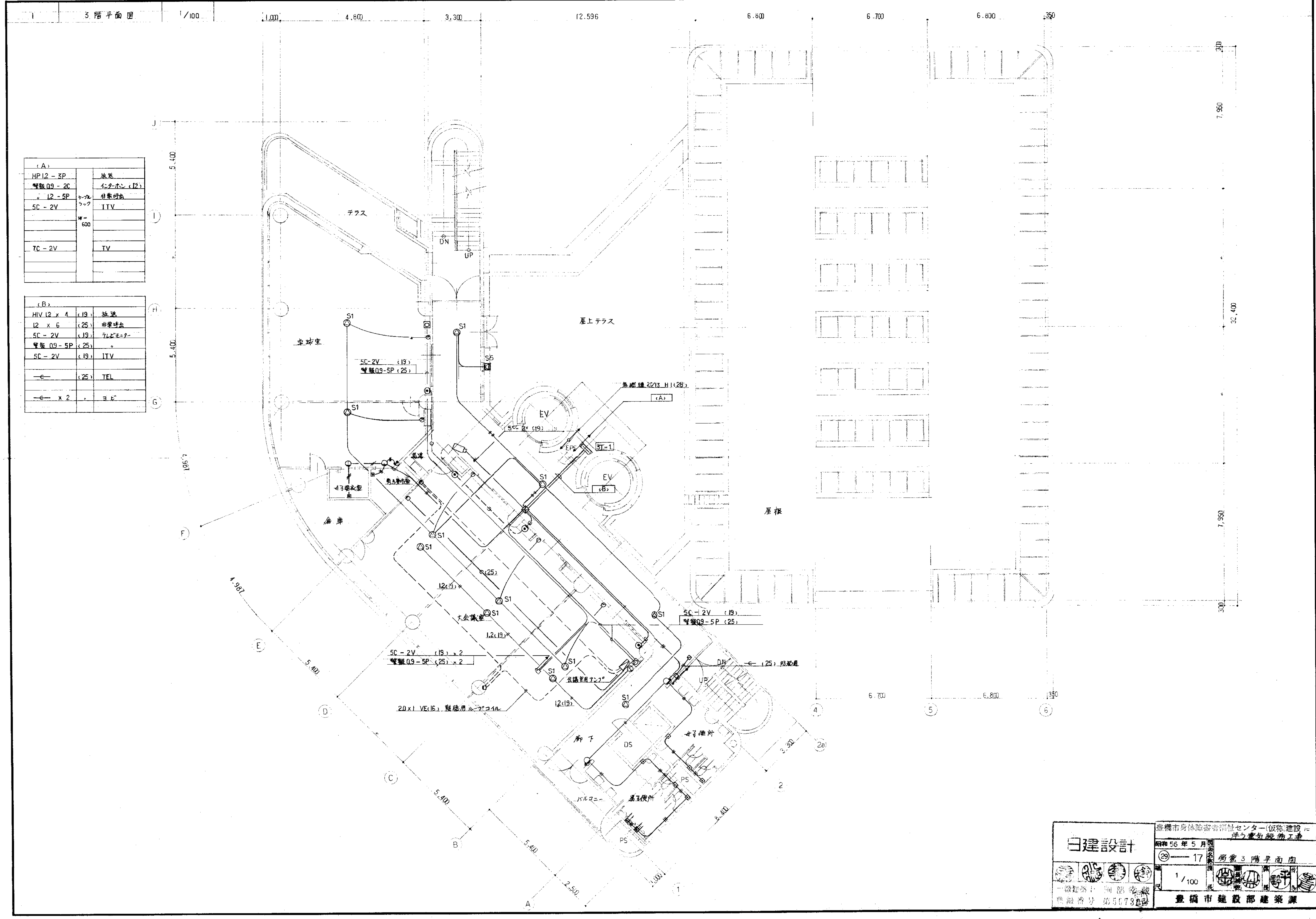
昭和56年5月

29-16

1/100

2階平面図

豊橋市建設部建築課

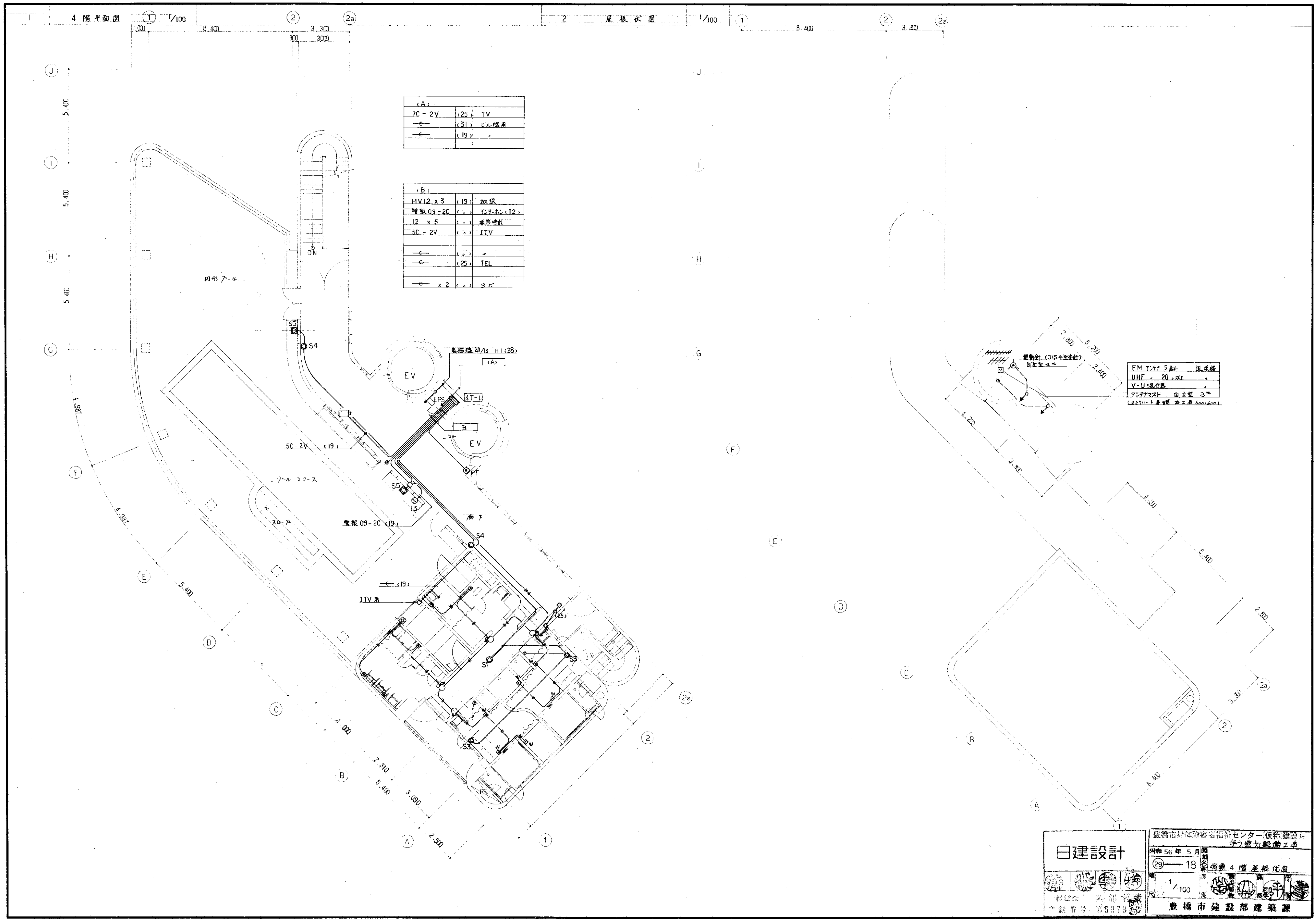


(A)		
HP12-3P	放送	
警報09-2C	インターホン(12)	
12-5P	非常時放送	
5C-2V	ITV	
W=600		
7C-2V	TV	

(B)		
HIV12x4	(19)	放送
12x6	(25)	非常時放送
5C-2V	(19)	テレビモニター
警報09-5P	(25)	
5C-2V	(19)	ITV
—C—	(25)	TEL
—C—x2		放送

日建設計

豊橋市身体障害者福祉センター(仮称)建設
第56年5月
第17号
第3階平面図
1/100
豊橋市建設部建築課



(A)		
7C-2V	(25)	TV
—C—	(31)	ビル専用
—C—	(19)	

(B)		
HIV12 x 3	(19)	放送
雙板09-20	(12)	不燃性
12 x 5	(12)	非燃性
5C-2V	(19)	ITV
—C—	(25)	TEL
—C— x 2	(19)	3.0

FMアンテナ 5本	BL線路
UHF 20 x 10	
V-U線路	
アンテナ	自立型 3.0
(25711-1) 高さ 2.0m 本工事 600x400	

日建設計

豊橋市建設部建築課

豊橋市身体障害者福祉センター(仮称建設)
供用電力設備工事

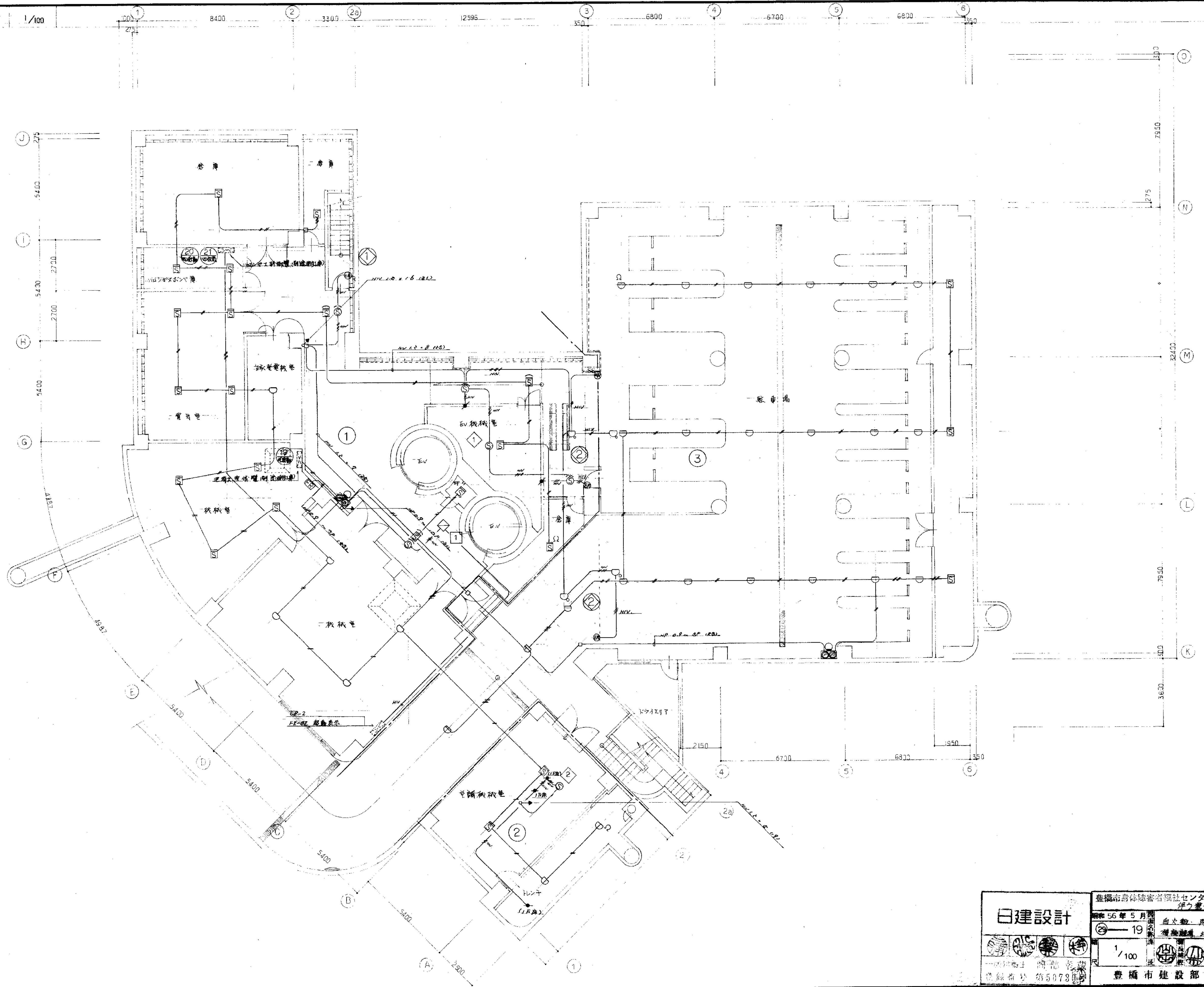
昭和56年5月
第18号
第4 階屋根伏図

1/100

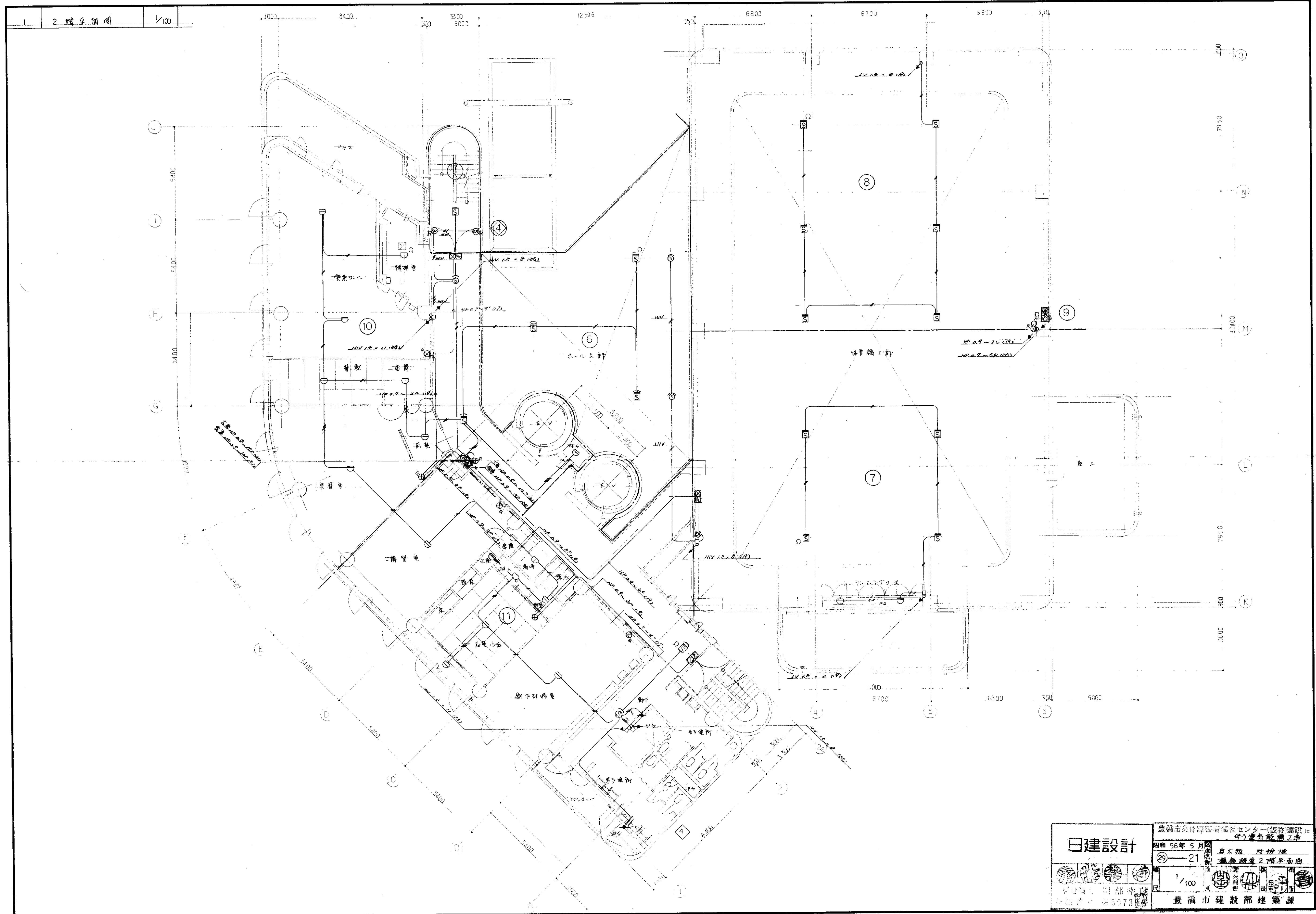
豊橋市建設部建築課

地階平面図

1/100



日建設計	豊橋市身体障害者福祉センター(仮称)建設に伴う電気設備工事	
	昭和56年5月	白木 毅 監理
	②-19	建築設備 地階平面図
	1/100	豊橋市建設部建築課



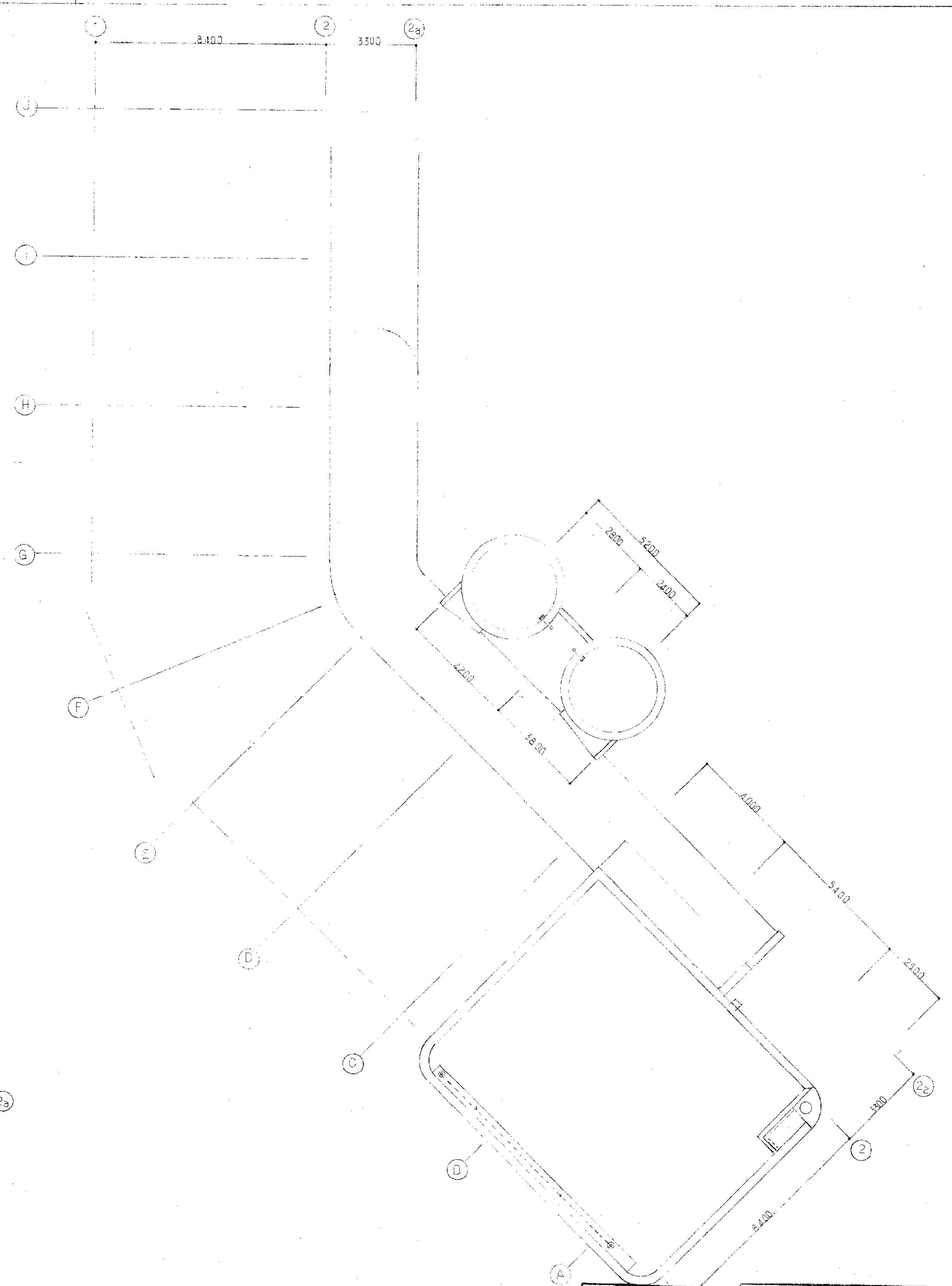
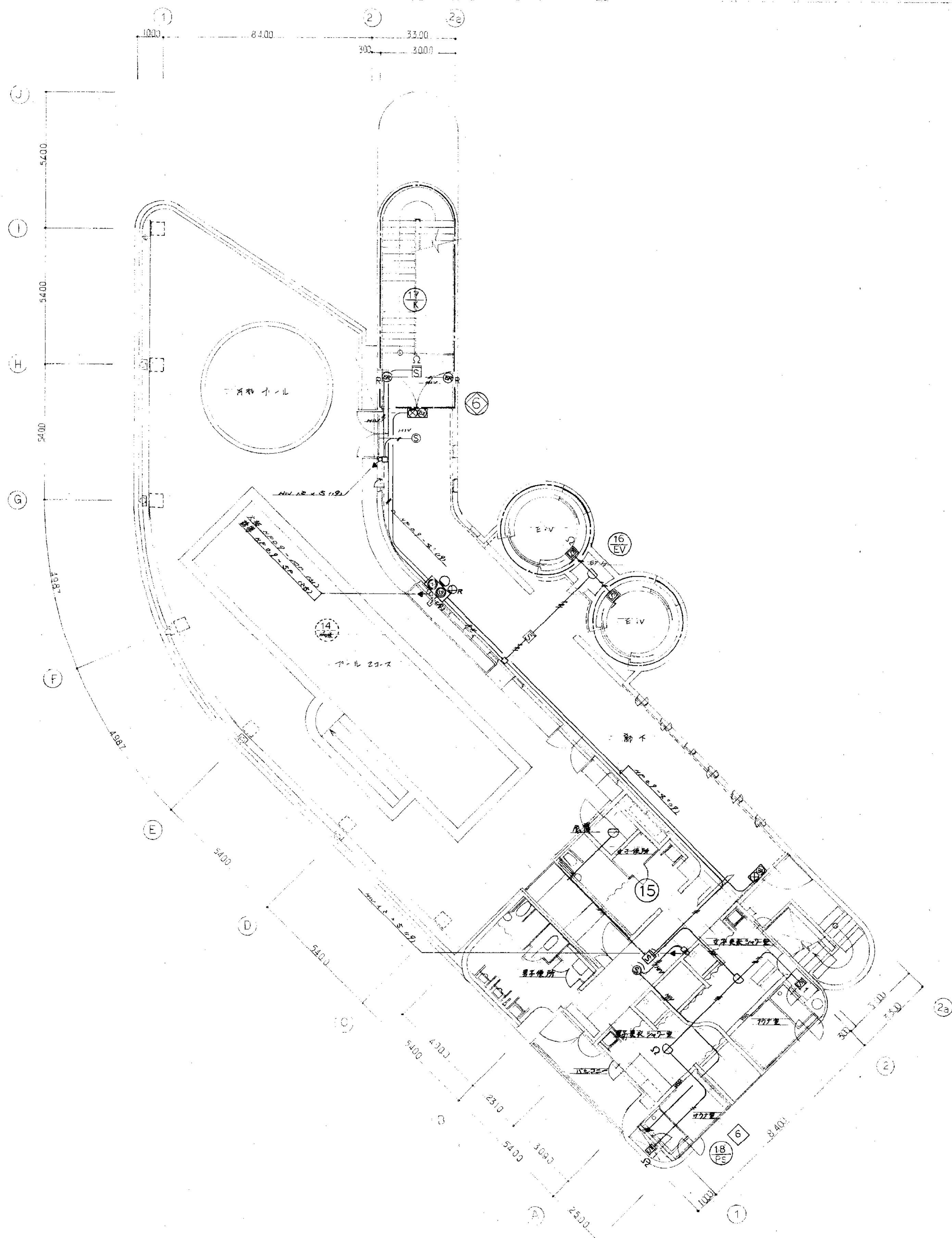
日建設計		豊橋市立市民文化センター(仮称)建設工事	
昭和56年5月		図大報 四神連	
21		建築標準2階平面図	
1/100		豊橋市建設部建築課	

4階平面図

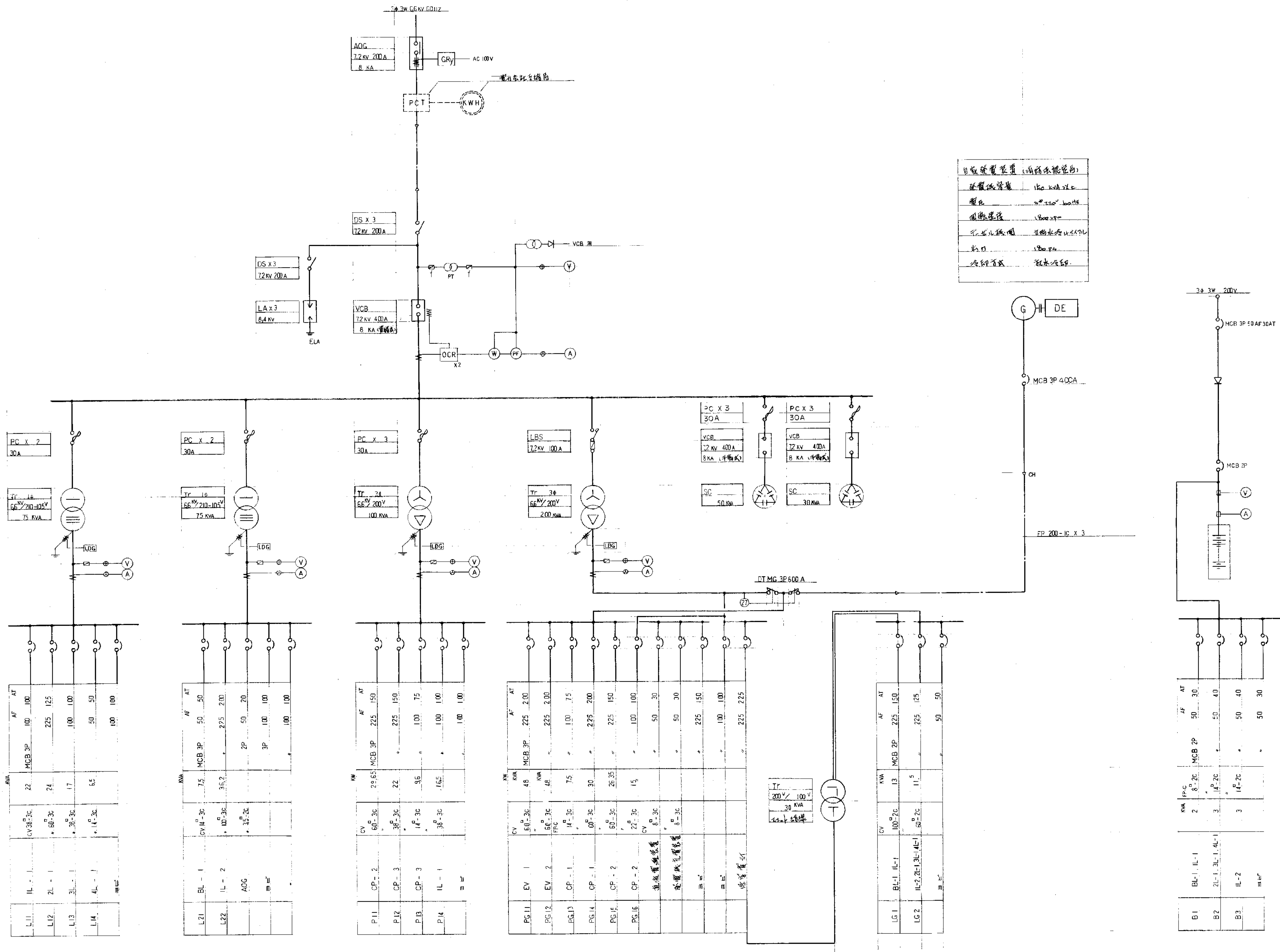
1/100

屋根伏図

1/100



日建設計		豊橋市立中央図書館（仮称）建設工事	
昭和56年5月		図大版 附排竣	
23		棟数図 4階 屋根伏図	
1/100		豊橋市建設部建築課	
設計者 阿部幸雄		登録番号 第5073号	



自設發電裝置 (消防系統用)

發電機容量	100 kVA 以上
燃料	重油 1000 公升
燃料貯蔵	1000 公升
燃料供給設備	重油供給設備
燃料	重油
燃料貯蔵	重油貯蔵

自設發電裝置仕様

自設發電機	重油 1000 公升
燃料貯蔵	重油貯蔵
燃料供給設備	重油供給設備

設備名	容量	単位	数量	備註
自設發電機	1000	公升	1	
燃料貯蔵	1000	公升	1	
燃料供給設備	1000	公升	1	
燃料	重油			
燃料貯蔵	重油			

建築設計 豊商建設部建築課

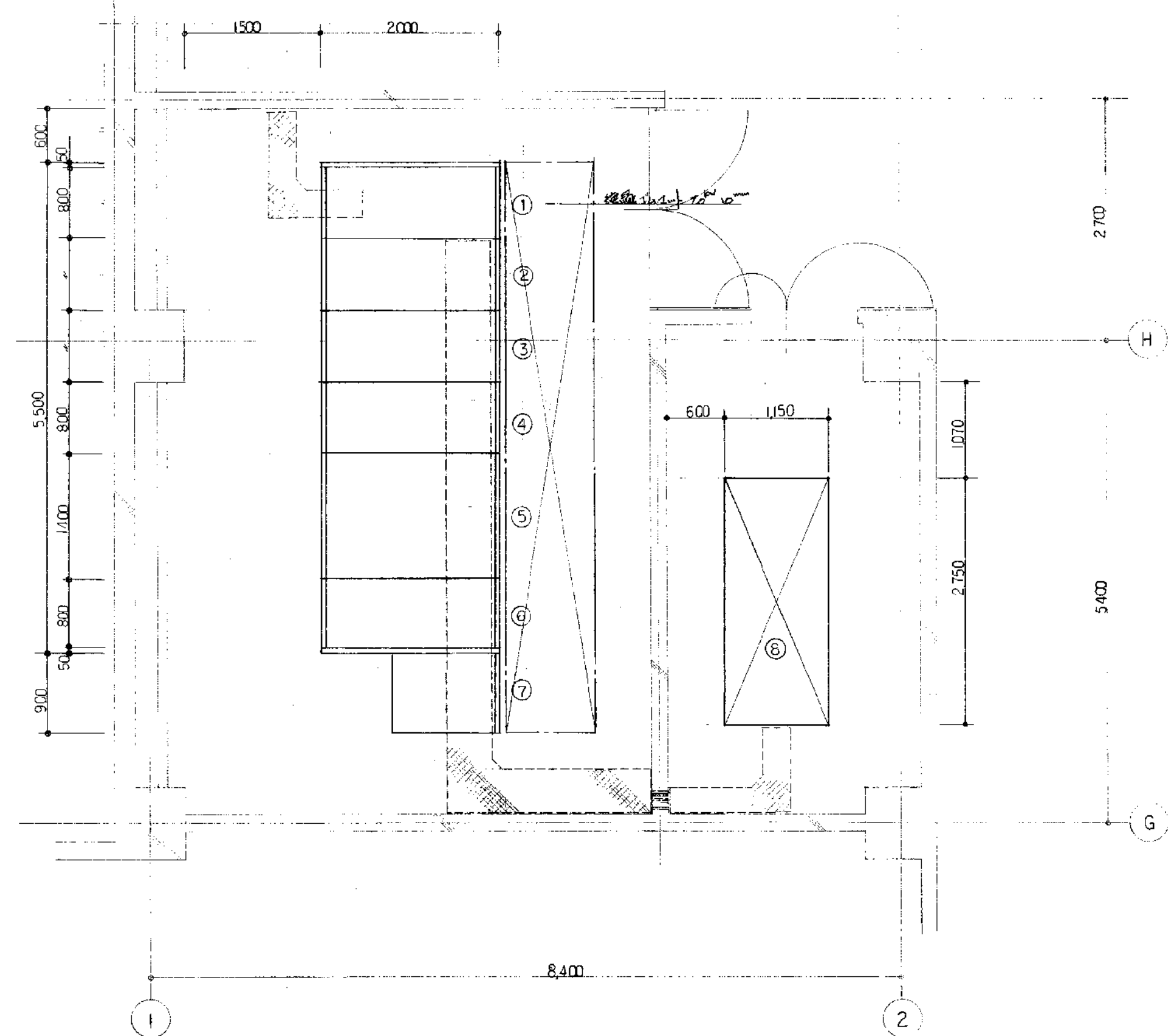
自設電源装置図

日建設計

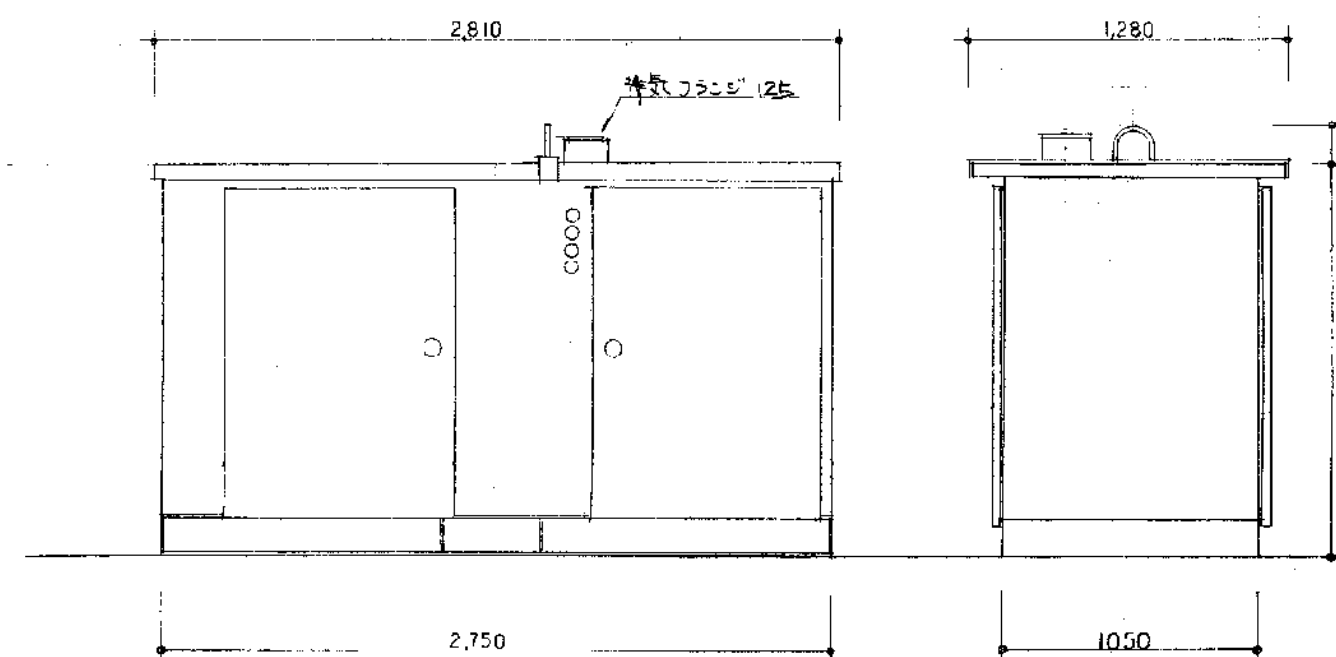
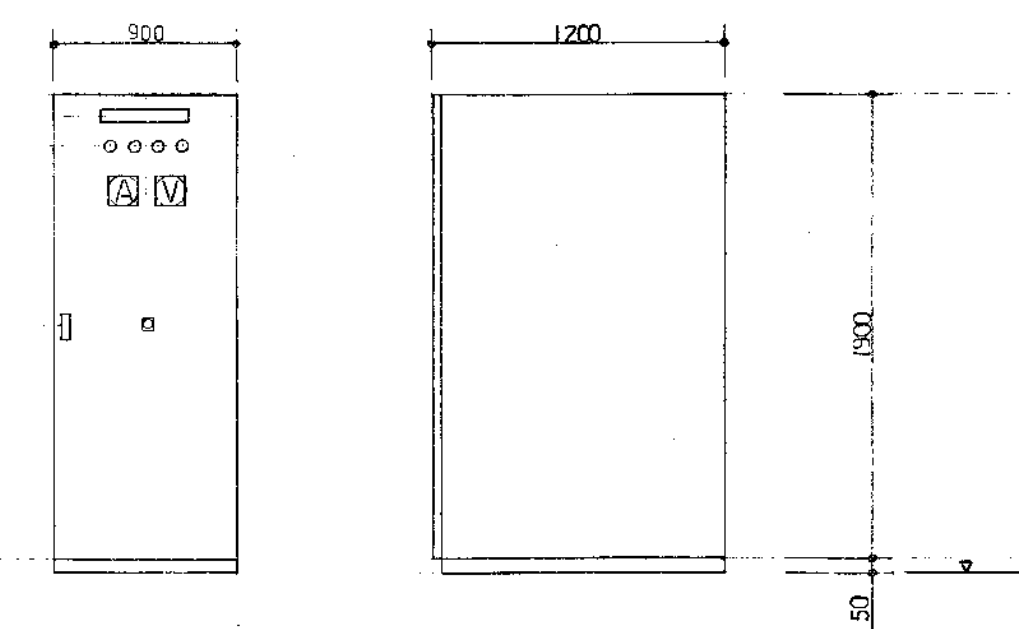
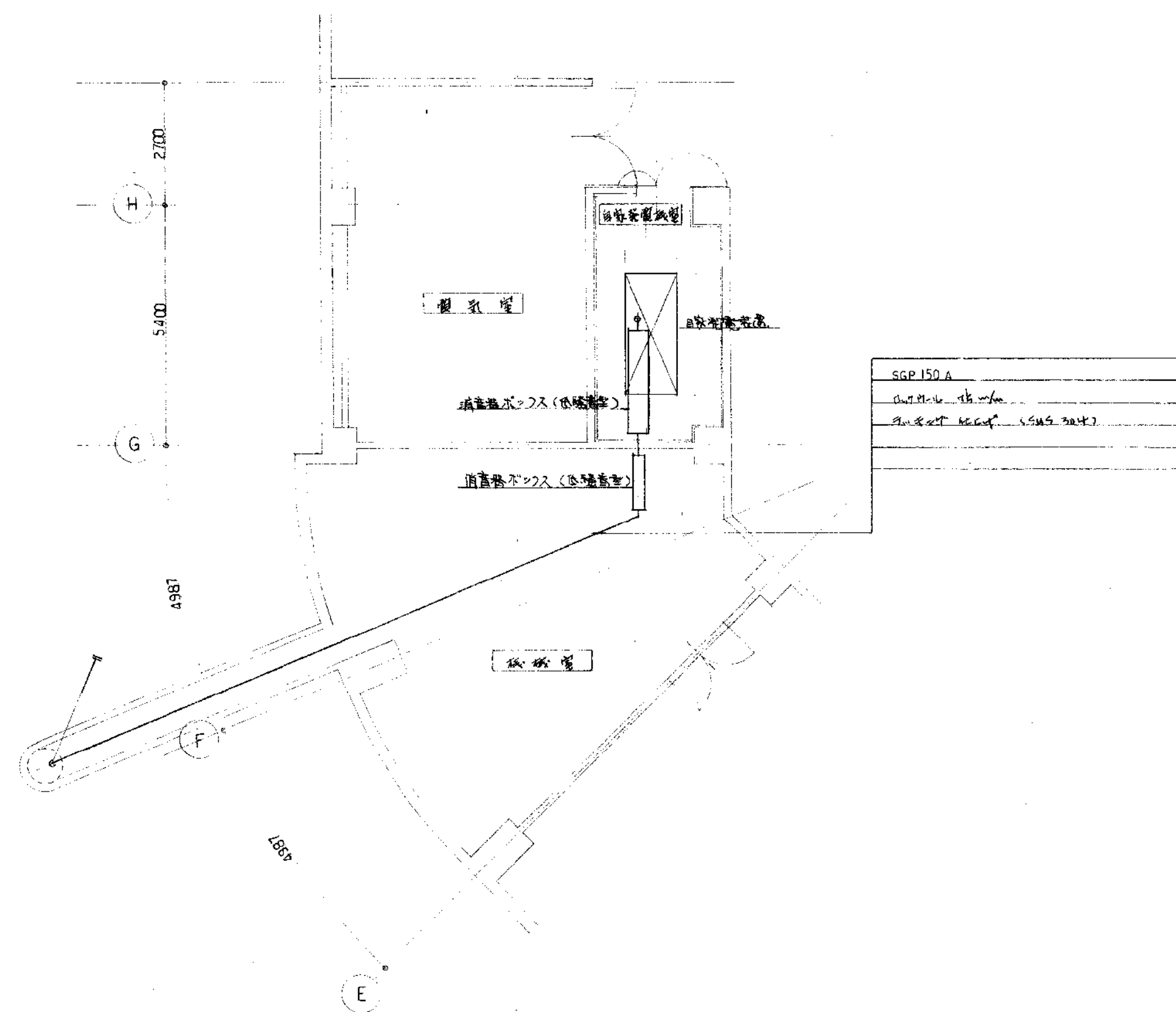
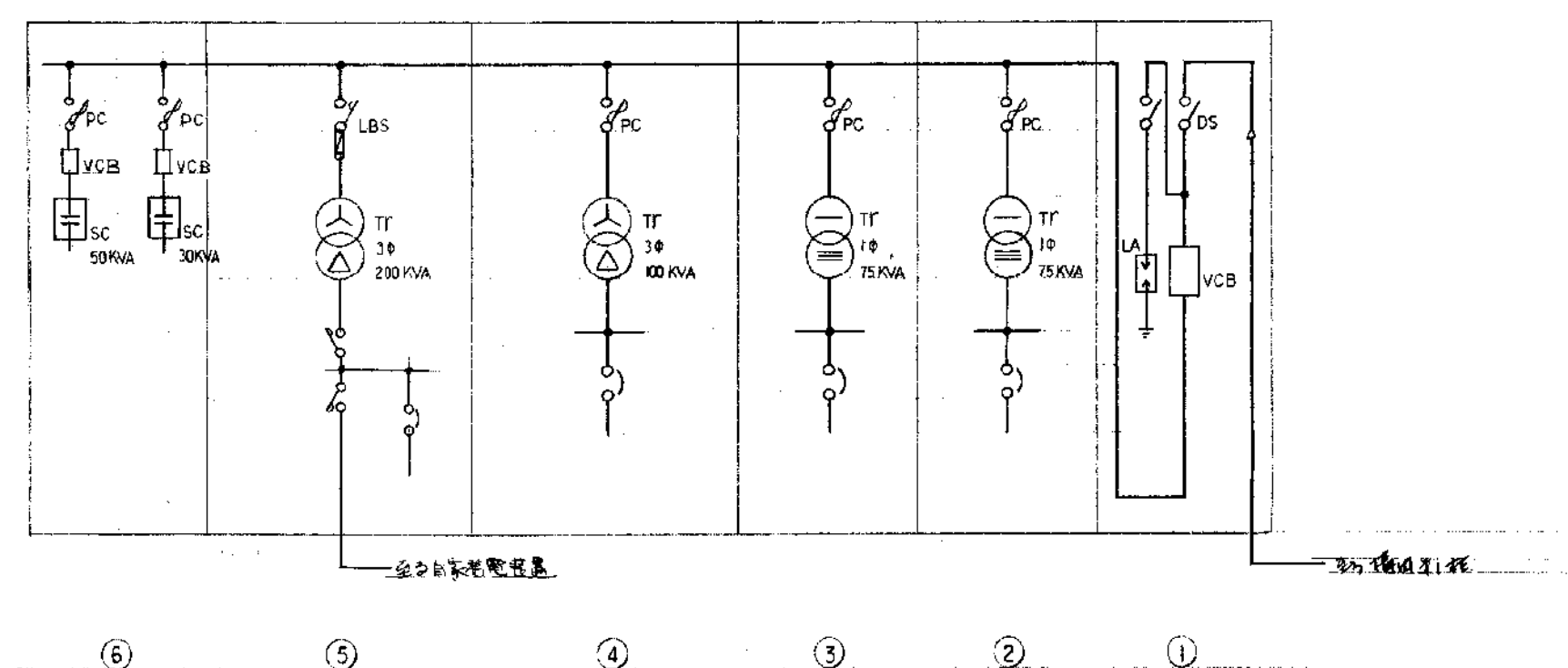
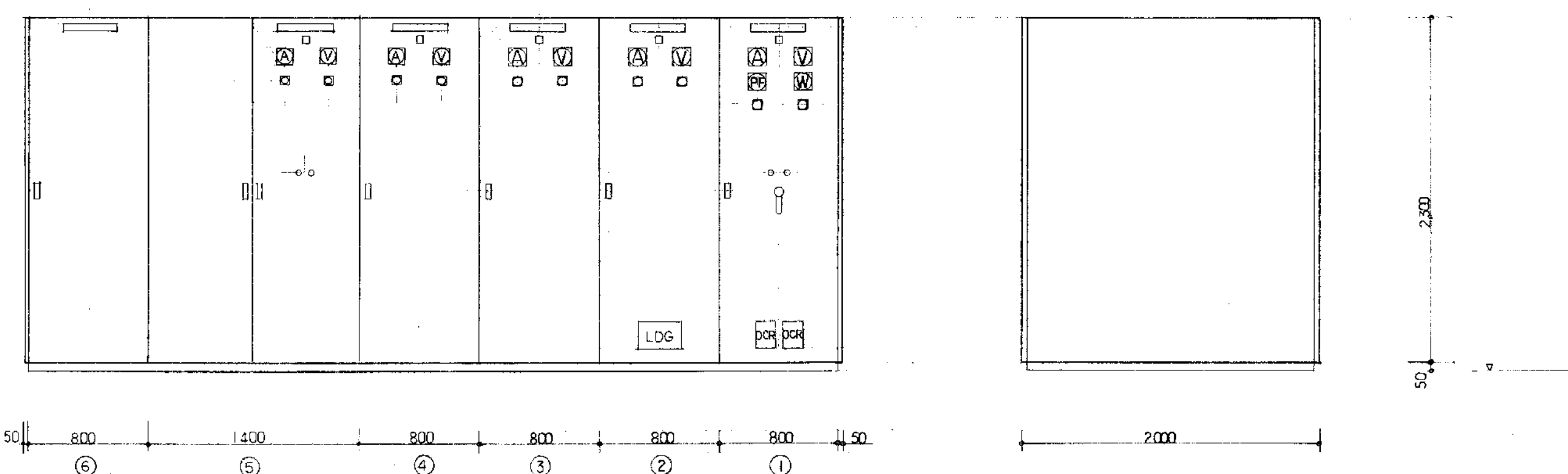
昭和56年5月

24

豊商建設部建築課

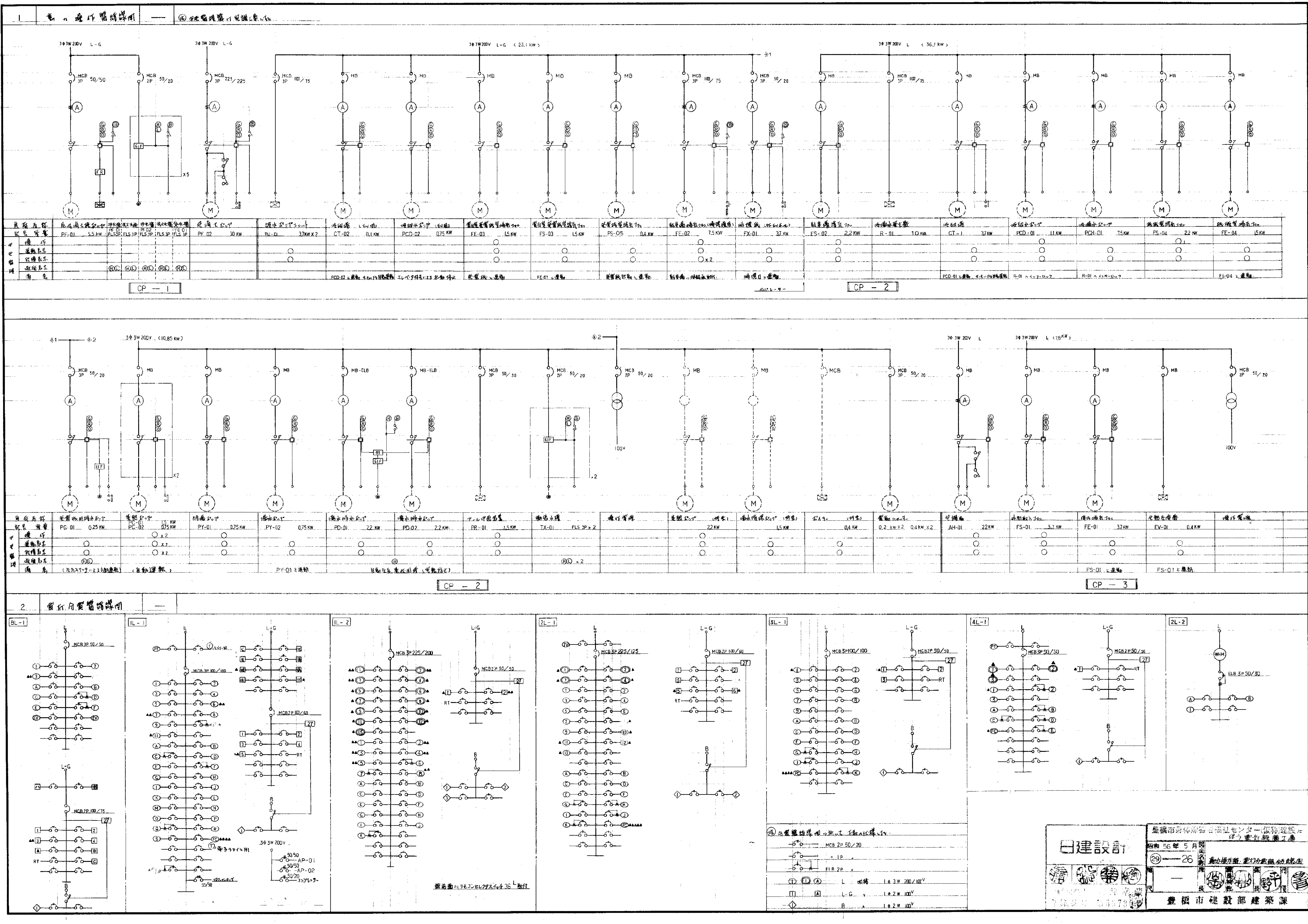


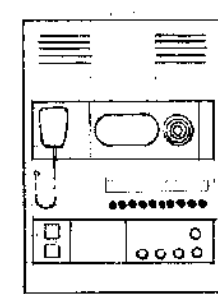
No	名	称
①	受电臂	
②	管形起重臂	10.1
③	"	10.2
④	新力起重臂	10.1
⑤	新力起重臂 10.2 起重臂 10.3	
⑥	起重臂 10.1	
⑦	起重臂 10.2	
⑧	起重臂 10.3	



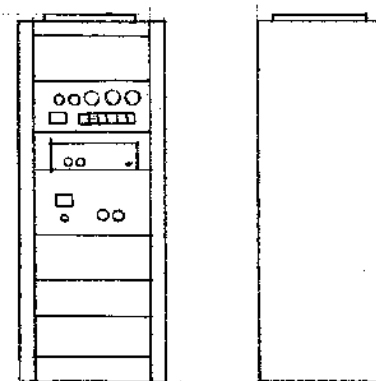
① 負荷因番	取手	負荷内容	容量	取手方式	取手時間
PF-01	底の消込処理	5.5	KN	直入	2
PF-02	抱積処理	30		A→△	1
FX-01	排煙機	3.7		直入	3
PG-E1	変電機時給水処理	0.25		・	1
FS-U3	蓄電池装置容量増加	1.5		・	3
FS-D4	変電機容量増	0.4		・	1
FE-03	蓄電池装置容量増加	1.5		・	3
FS-D1	新変電機設置	7.5		・	2
① 変電機容量増	その他	1.3 P			1

非解时照明箱是活箱	$\delta_{\text{KVA}} < 80^\circ$
箱底有积水而度	5°C
使用高湿度	潮湿度 HS 特
高湿度行常品以消化	$90\text{V} < 167\text{Vee} \rightarrow K=1.17$

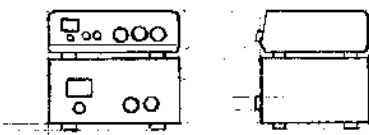




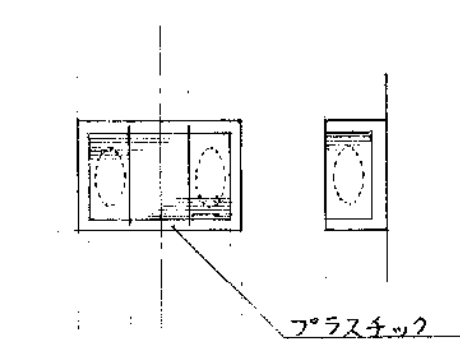
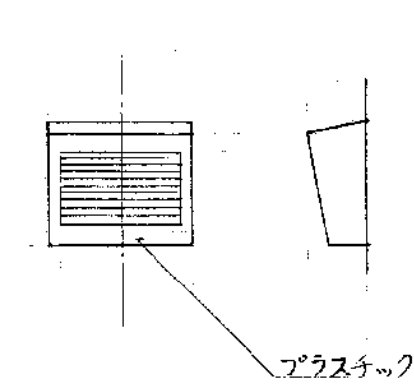
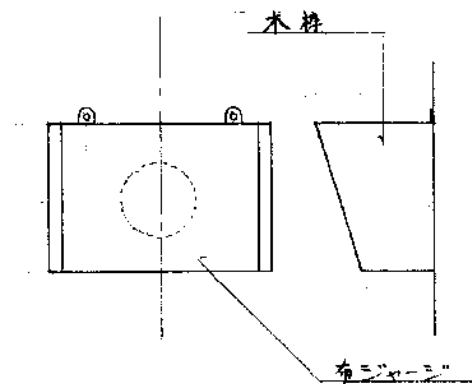
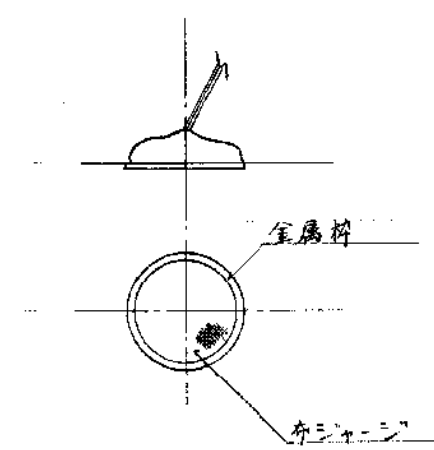
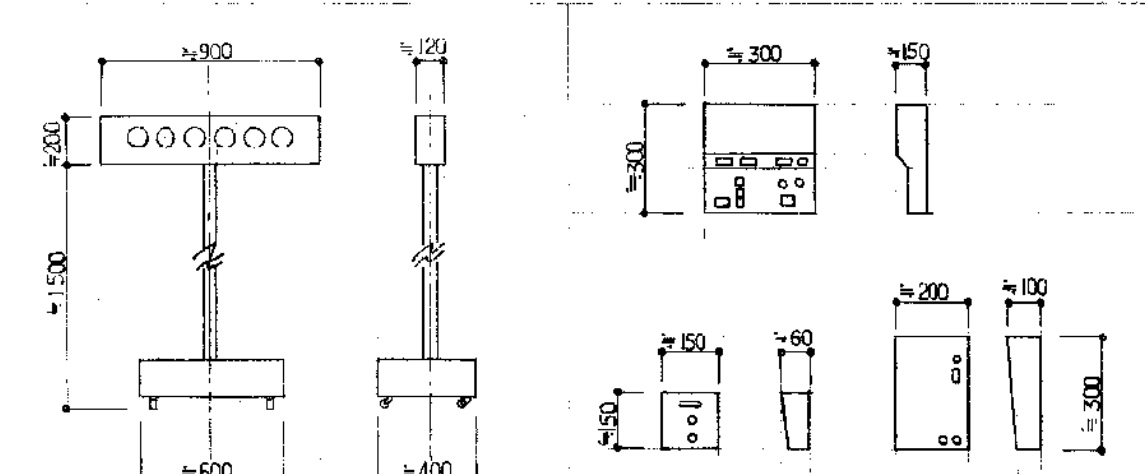
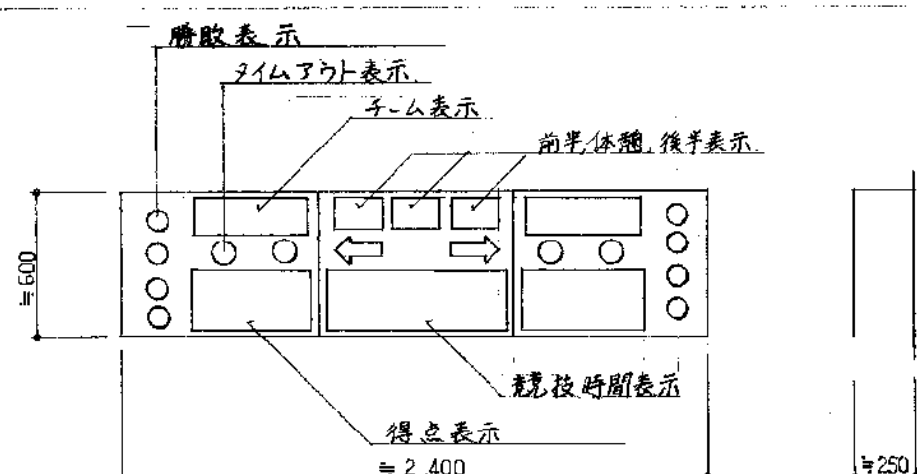
電源	防炎200V (組合機に組込)
定格出力	AC100V
局数	10局、100W
周波数特性	50~15,000Hz ±2dB
入力	マイク: 2, リモコン: 1
	コード: 1, ケーブル: 1
備考	ライン: 2
	一級保護兼用
	モニター用ケーブル付
	非常電源内蔵



電源	体育館用200V
定格出力	AC100V
局数	50W
周波数特性	50~20,000Hz ±3dB
入力	マイク: 4, ライン: 2
	コード: 1
備考	ワイヤレス受信機 (2ch)
	聴聴用ケーブル (30m)
	マイク収納スペース



電源	会議室用200V
定格出力	AC100V
周波数特性	80~10,000Hz ±5dB
入力	マイク: 2, ライン: 2
備考	聴聴用ケーブル (30m)

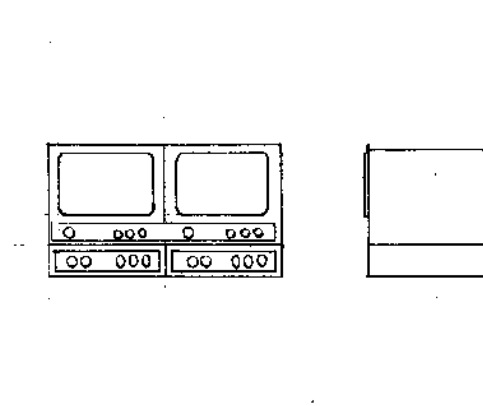
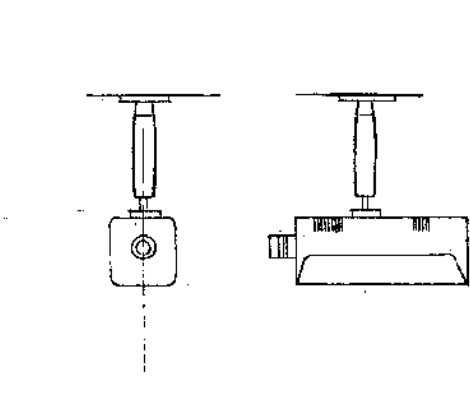
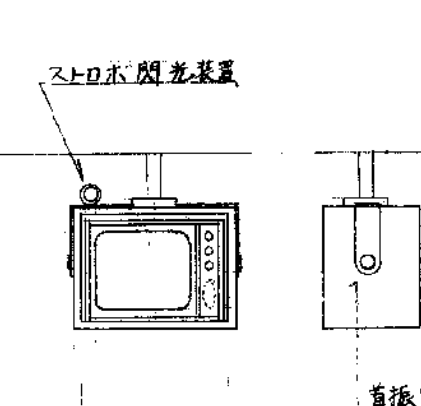
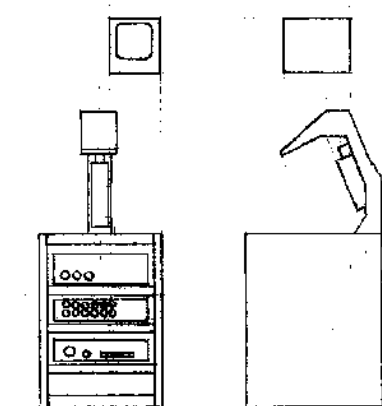


S1	天井埋込スピーカー
定格出力	3W
使用ケーブル	15m
周波数特性	130~12,000Hz

S2	壁掛スピーカー
定格出力	3W
使用ケーブル	16m
周波数特性	130~12,000Hz

S3	壁掛スピーカー
定格出力	3W
使用ケーブル	16m
周波数特性	150~10,000Hz

S4	壁掛スピーカー
定格出力	6W
使用ケーブル	18x10m ±2
周波数特性	200~8,000Hz

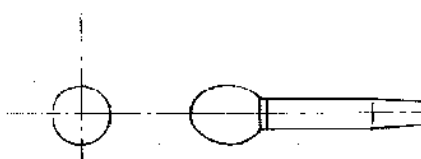
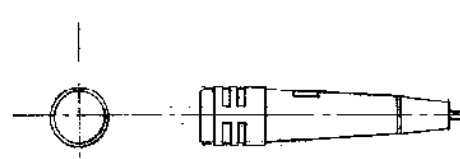
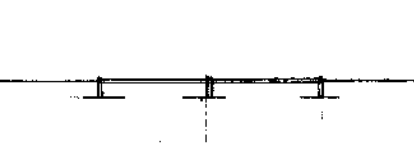
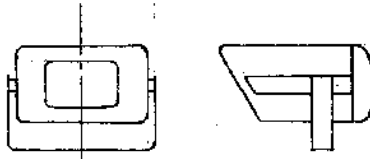


テレビカメラ装置	テレビカメラ装置
カメラ	ズームレンズ、テレビカメラ
モニター	モニター (8型)
備考	カメラコントロールユニット
	電源リレー
	カメラスタートスイッチ、ストップスイッチ
	制御ケーブル、マイクホン

テレビモニター	14型、モニター付
モニター	VTR入力端子、外部入力端子
備考	カメラスタートスイッチ
	20型、テレビモニター
	20型、テレビモニター

ITVカメラ	ITVカメラ
電源	AC24V
レンズ	6mm (4.5mm)

ITVモニター	9型、モニター付
モニター	VTR入力端子、外部入力端子
備考	カメラスタートスイッチ
	電源リレー
	カメラスタートスイッチ、ストップスイッチ
	制御ケーブル、マイクホン



S5	屋外スピーカー
定格出力	15W
周波数特性	250~12,000Hz
	コンデンサユニット内蔵

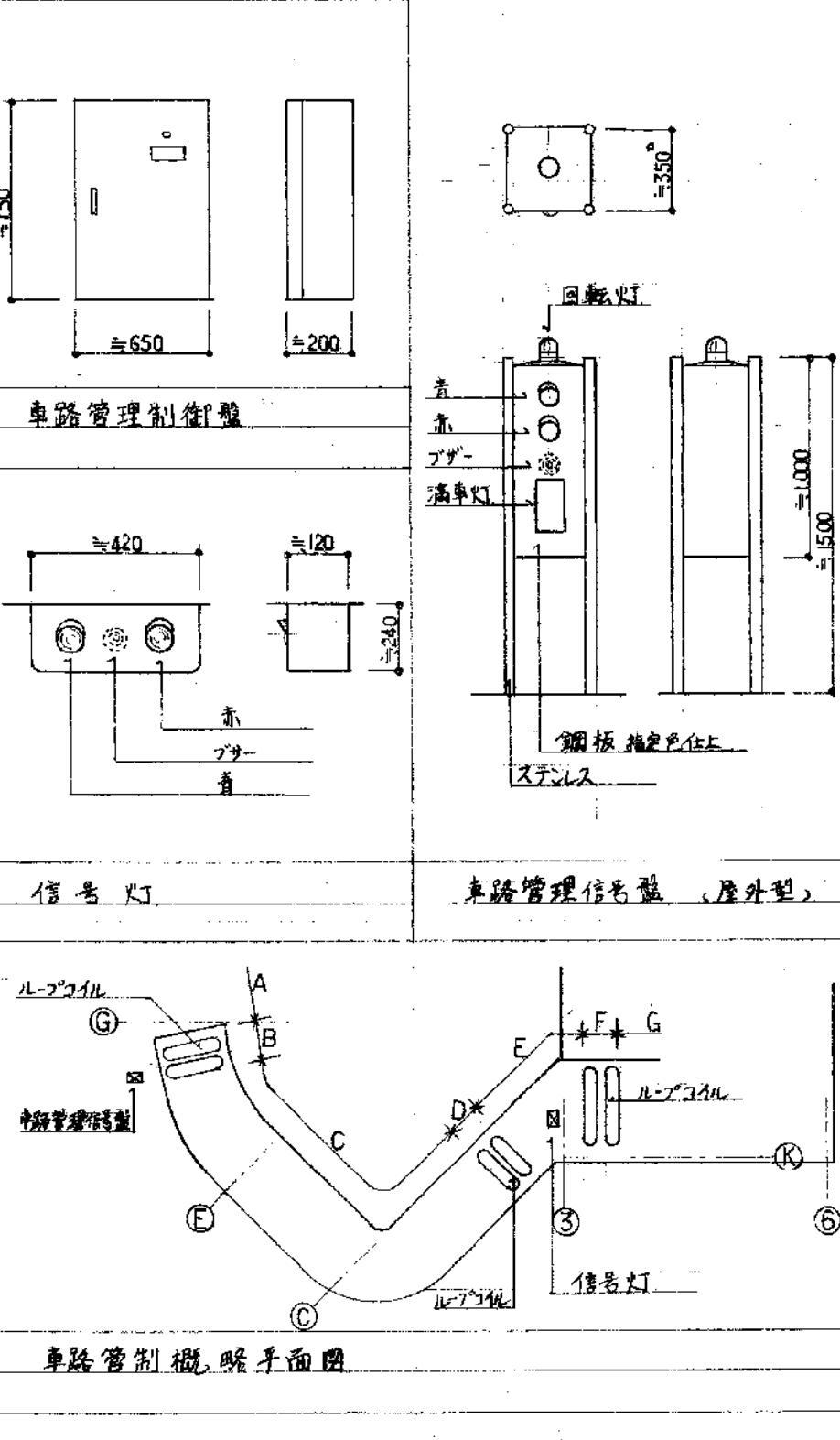
S6	屋外スピーカー
定格出力	15W
周波数特性	250~12,000Hz
	コンデンサユニット内蔵

S7	屋外スピーカー
定格出力	15W
周波数特性	250~12,000Hz
	コンデンサユニット内蔵

S8	屋外スピーカー
定格出力	15W
周波数特性	250~12,000Hz
	コンデンサユニット内蔵

S9	屋外スピーカー
定格出力	15W
周波数特性	250~12,000Hz
	コンデンサユニット内蔵

車路管理装置	車路管理装置
カメラ	ズームレンズ、テレビカメラ
モニター	モニター (8型)
備考	カメラコントロールユニット
	電源リレー
	カメラスタートスイッチ、ストップスイッチ
	制御ケーブル、マイクホン



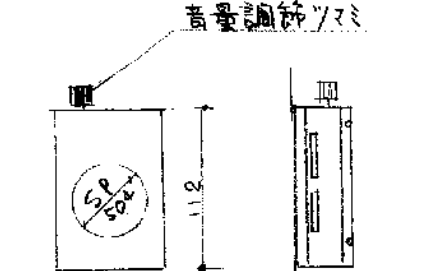
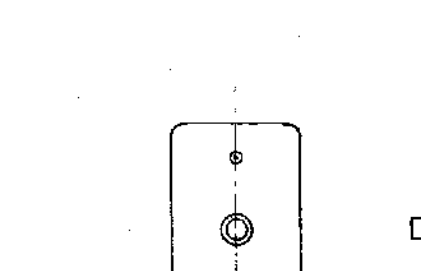
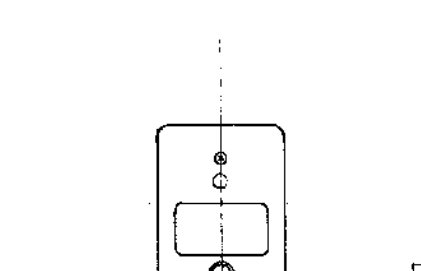
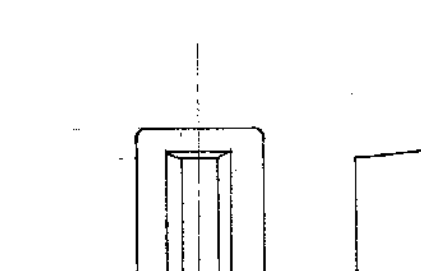
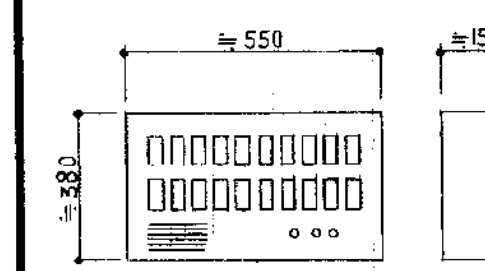
I1	親子式インターホン (組合機に組込)
電源	AC100V
局数	8局以上
通話方式	同時通話方式

I2	親子式インターホン (組合機に組込)
電源	AC100V
局数	1局
通話方式	同時通話方式

I3	インターホン子機
電源	AC100V
局数	1局
通話方式	同時通話方式

I4	気筒子機
電源	AC100V
局数	1局
通話方式	同時通話方式

I5	気筒子機
電源	AC100V
局数	1局
通話方式	同時通話方式



IC	非常呼出装置 (組合機に組込)
電源	AC100V
呼出方式	表示ランプ、断続電子音
	非常ボタン付

IC	非常呼出装置 (組合機に組込)
電源	AC100V
呼出方式	表示ランプ、断続電子音
	非常ボタン付

IC	非常呼出装置 (組合機に組込)
電源	AC100V
呼出方式	表示ランプ、断続電子音
	非常ボタン付

IC	非常呼出装置 (組合機に組込)
電源	AC100V
呼出方式	表示ランプ、断続電子音
	非常ボタン付

IC	非常呼出装置 (組合機に組込)
電源	AC100V
呼出方式	表示ランプ、断続電子音
	非常ボタン付

IC	非常呼出装置 (組合機に組込)
電源	AC100V
呼出方式	表示ランプ、断続電子音
	非常ボタン付

IC	非常呼出装置 (組合機に組込)
電源	AC100V
呼出方式	表示ランプ、断続電子音
	非常ボタン付

IC	非常呼出装置 (組合機に組込)
電源	AC100V
呼出方式	表示ランプ、断続電子音
	非常ボタン付

IC	非常呼出装置 (組合機に組込)
電源	AC100V
呼出方式	表示ランプ、断続電子音
	非常ボタン付

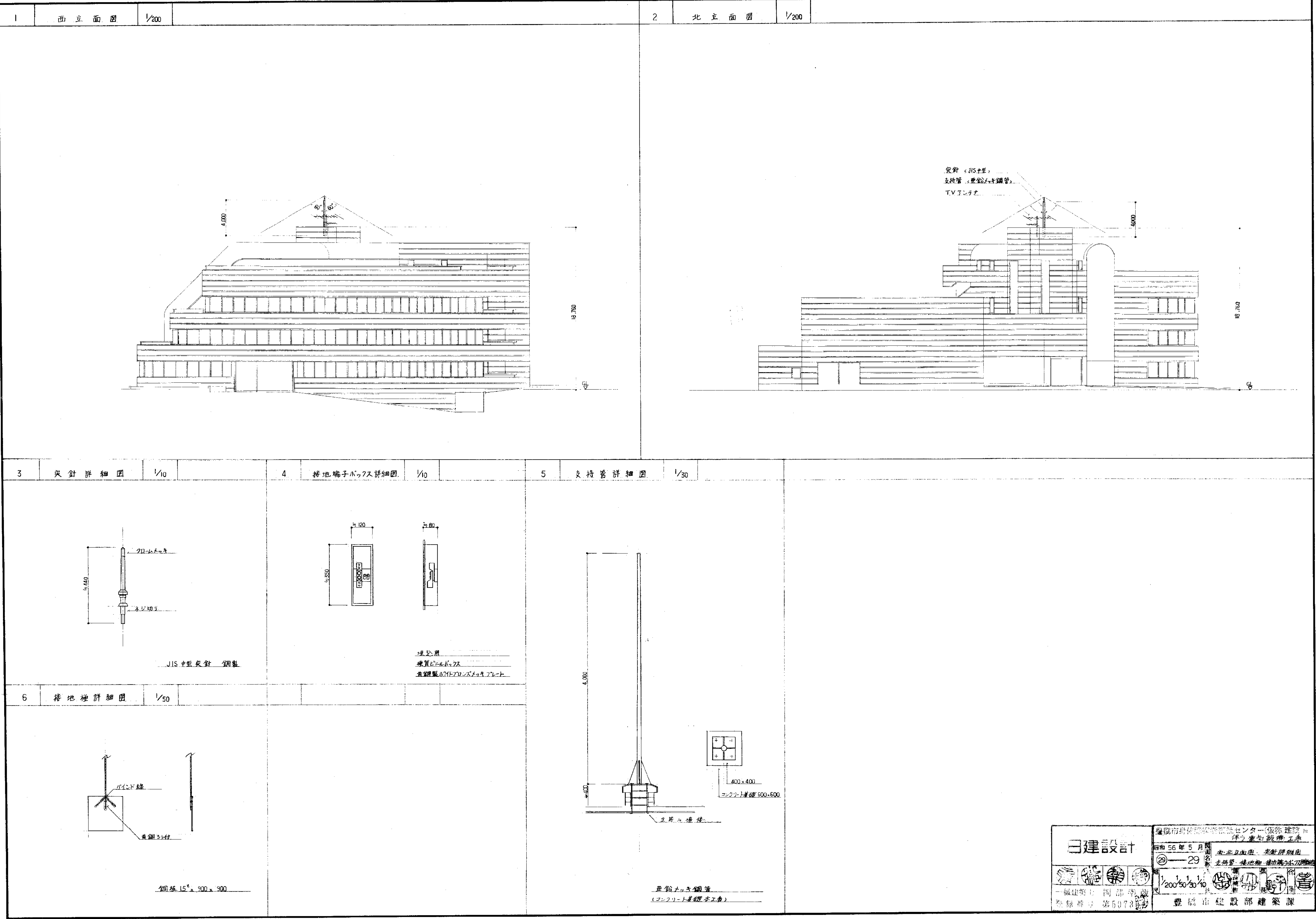
IC	非常呼出装置 (組合機に組込)
電源	AC100V
呼出方式	表示ランプ、断続電子音
	非常ボタン付

日建設計

昭和56年5月

28

豊橋市建設部建築課



日建設計	昭和56年5月		豊橋市建設部建築課	
	29		豊橋市建設部建築課	
	1/200 1/30 1/10		豊橋市建設部建築課	

電気設備工事特記仕様書・指定資材

平成28年 7月19日 改訂

重

節・項目

1.1.1

適用基準等

1.1.3

官公署その他への
届出手続等

1.1.4

工事実績情報の登録

1.2.1

概成工期

1.2.4

工事の記録

1.3.2

電気保安技術者

1.3.9

発生材の処理等

1.4.1

環境への配慮

1.4.2

機材の品質等

1.5.7

化学物質の濃度測定

1.7.1

完成時の提出図書

1.7.2

完成図

特記事項

1. この特記事項以外は下記に準拠する。但し、本工事に関係しない事項は適用しない。
1) 豊橋市長約規則
2) 工事請負契約書
3) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事編) (平成28年版)
4) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築設備工事標準図 (電気設備工事編) (平成28年版)
5) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書 (電気設備工事編) (平成28年版)
6) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) (平成28年版)
7) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) (平成28年版)
8) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書 (機械設備工事編) (平成28年版)
9) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書 (建築工事編) (平成28年版)
10) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書 (建築工事編) (平成28年版)
11) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 建築物解体工事共通仕様書 (平成24年版)
12) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築木造工事標準仕様書 (平成28年版)
13) 関係法令及び諸工事基準
14) 鉄筋、ガス圧接、コンクリート及び鋼材の採取検査は、愛知県建築工事品質管理要領(資材編)による。
2. 特記事項の適用優先順位 1. ① 2. ※ 但し、①と②がある場合は共に適用する。
3. 本工事に使用する資材は「電気設備工事指定資材」及び「あいくる材認定一覧」による。
4. 設計図書に関する疑義は原則として、入札執行前に質疑書の提出によって確かめるものとする。
工事着手、施工、完成に当たり、関係官公署その他関係機関への必要な届出手続等を遅滞なく行う。
消防用設備等設置届出書は、自動火災報知設備、消火器、消火栓及び非常放送設備等を一括取りまとめの上、電気工事受注者が消防長への届出手続を行う。
※適用する ・適用しない
受注者は、請負代金額が500万円以上の工事について、(一財)日本建設情報総合センター(JACIC)の工事実績情報システム(CORINS)に工事実績情報の登録(受注時、変更時、しゅん工時)を行う。その内容については、登録前に監督員の確認を受ける。
なお、メール送付の承諾有りとする。
工期は監督員による工事完了確認期間を含むものとする。
・ 無 ・ 有 (年 月 日)
1. 本工事は工事写真について電子納品の対象工事とする。ただし、電子納品ソフトを購入し、基準どおりに整備できない場合は、工事写真台帳ソフト及びWord、Excel形式等で写真データを貼り付けたものを電子媒体へ記録したものでも可とする。
2. 電子納品ソフトによる電子媒体での納品の作成については最新の「愛知県電子納品運用ガイドライン(案)」及び「愛知県デジタル写真管理情報基準(案)」に準じて行うものとし、撮影にあたっては本市の工事記録写真撮影要領に基づくものとする。なお、市独自の対応の必要が生じた場合は、施工計画書の提出前までに監督員と協議し決定する。
3. 電子納品の成果品の提出部数については、電子媒体(CD-RまたはDVD-R、ただしDVD-Rとする場合は事前に監督員の承認を得る。)2部とし、ビューアソフトを添付したものとする。
4. 受注者は、電子納品に必要なハード及びソフト環境の整備を行うとともに、各検査時に写真情報の開覧操作用機器を準備するものとする。
5. その他、電子納品に関する詳細な取扱については、監督員と協議の上、その指示に従うこととする。
1. 工事着手前
工事着手に先立ち、敷地及び周辺の道路、建築物及び工作物等の現況を撮影する。
2. 工事中
施工後通べい又は埋設される部分で監督員が承諾した部分を除き右図に示す黒板と該写体及びスケールを合わせて撮影する。
監督員の指示により適宜提出する。
電気工作物に係る工事においては、電気保安技術者をおき、施工計画書中の現場施工体制に記載すること。
※ 有
1. 引渡しを要するものは、監督員の指定する場所に搬出し、発生物件調書を作成し施設管理者へ引渡す。
2. 引渡しを要しないものは、すべて場外に搬出し、下記施設副産物の項及び関係法令等に従い、適正に処理する。
3. 本工事で発生する産業廃棄物のうち愛知県内の最終処分場に搬入する産業廃棄物については、愛知県産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。
4. PCBを使用している難材材料は、引渡しを要する。搬去した機器のメーカー名・型番・製造年月日及びPCB入りとそうでないもののリストを作成して発注者へ提出する。
5. 次の物品はPCBの混入が疑われるため、専門の分析機関に依頼し、その有無を確認する。
昭和47年以前の建築物：ポリサルファイド系コーキング
平成元年以前の製造機器：蛍光灯安定器、コンデンサ、リアクトル、コンデンサ用放電コイル、変圧器(絶縁油中の濃度0.5mg/kg以下のものは対象外)
上記以外においても、PCB混入の恐れがある場合は、監督員と協議の上、確認すること。
6. アスベスト含有建材は、大気汚染防止法の改正(平成26年6月1日施行)に基づき、適正に対応すること。
1. 発生材については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「資源の有効な利用の促進に関する法律」及び「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」その他の関係法令の規定を遵守し「豊橋市建設副産物リサイクルガイドライン実施要綱」(以下「リサイクルガイドライン」という。)に基づき、適正に処理する。
2. 事前に「リサイクルガイドライン」に定める計画書を監督員に提出する。
3. 工事完了時に「リサイクルガイドライン」に定める実施書及び入力した電子データを監督員に提出する。
しない ※ する「リサイクルガイドライン別表3」による。
工事に伴い発生する建設副産物のうち、次のものは再資源化施設へ搬出する。
※コンクリート塊 ※アスファルトコンクリート塊 ※建設発生木材 ※金属くず ・その他()
使用する資材は、リサイクル資材の率先利用を図るため、「愛知県あいくる材率先利用方針」を遵守し、あいくる材として認定されている資材の利用に努める。
1. 4. 1
環境への配慮
1. 4. 2
機材の品質等
1. 5. 7
化学物質の濃度測定
1. 7. 1
完成時の提出図書
1. 7. 2
完成図

事項

1. この特記事項以外は下記に準拠する。但し、本工事に関係しない事項は適用しない。
1) 豊橋市長約規則
2) 工事請負契約書
3) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事編) (平成28年版)
4) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築設備工事標準図 (電気設備工事編) (平成28年版)
5) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書 (電気設備工事編) (平成28年版)
6) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) (平成28年版)
7) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) (平成28年版)
8) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書 (機械設備工事編) (平成28年版)
9) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書 (建築工事編) (平成28年版)
10) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書 (建築工事編) (平成28年版)
11) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 建築物解体工事共通仕様書 (平成24年版)
12) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築木造工事標準仕様書 (平成28年版)
13) 関係法令及び諸工事基準
14) 鉄筋、ガス圧接、コンクリート及び鋼材の採取検査は、愛知県建築工事品質管理要領(資材編)による。
2. 特記事項の適用優先順位 1. ① 2. ※ 但し、①と②がある場合は共に適用する。
3. 本工事に使用する資材は「電気設備工事指定資材」及び「あいくる材認定一覧」による。
4. 設計図書に関する疑義は原則として、入札執行前に質疑書の提出によって確かめるものとする。
工事着手、施工、完成に当たり、関係官公署その他関係機関への必要な届出手続等を遅滞なく行う。
消防用設備等設置届出書は、自動火災報知設備、消火器、消火栓及び非常放送設備等を一括取りまとめの上、電気工事受注者が消防長への届出手続を行う。
※適用する ・適用しない
受注者は、請負代金額が500万円以上の工事について、(一財)日本建設情報総合センター(JACIC)の工事実績情報システム(CORINS)に工事実績情報の登録(受注時、変更時、しゅん工時)を行う。その内容については、登録前に監督員の確認を受ける。
なお、メール送付の承諾有りとする。
工期は監督員による工事完了確認期間を含むものとする。
・ 無 ・ 有 (年 月 日)
1. 本工事は工事写真について電子納品の対象工事とする。ただし、電子納品ソフトを購入し、基準どおりに整備できない場合は、工事写真台帳ソフト及びWord、Excel形式等で写真データを貼り付けたものを電子媒体へ記録したものでも可とする。
2. 電子納品ソフトによる電子媒体での納品の作成については最新の「愛知県電子納品運用ガイドライン(案)」及び「愛知県デジタル写真管理情報基準(案)」に準じて行うものとし、撮影にあたっては本市の工事記録写真撮影要領に基づくものとする。なお、市独自の対応の必要が生じた場合は、施工計画書の提出前までに監督員と協議し決定する。
3. 電子納品の成果品の提出部数については、電子媒体(CD-RまたはDVD-R、ただしDVD-Rとする場合は事前に監督員の承認を得る。)2部とし、ビューアソフトを添付したものとする。
4. 受注者は、電子納品に必要なハード及びソフト環境の整備を行うとともに、各検査時に写真情報の開覧操作用機器を準備するものとする。
5. その他、電子納品に関する詳細な取扱については、監督員と協議の上、その指示に従うこととする。
1. 工事着手前
工事着手に先立ち、敷地及び周辺の道路、建築物及び工作物等の現況を撮影する。
2. 工事中
施工後通べい又は埋設される部分で監督員が承諾した部分を除き右図に示す黒板と該写体及びスケールを合わせて撮影する。
監督員の指示により適宜提出する。
電気工作物に係る工事においては、電気保安技術者をおき、施工計画書中の現場施工体制に記載すること。
※ 有
1. 引渡しを要するものは、監督員の指定する場所に搬出し、発生物件調書を作成し施設管理者へ引渡す。
2. 引渡しを要しないものは、すべて場外に搬出し、下記施設副産物の項及び関係法令等に従い、適正に処理する。
3. 本工事で発生する産業廃棄物のうち愛知県内の最終処分場に搬入する産業廃棄物については、愛知県産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。
4. PCBを使用している難材材料は、引渡しを要する。搬去した機器のメーカー名・型番・製造年月日及びPCB入りとそうでないもののリストを作成して発注者へ提出する。
5. 次の物品はPCBの混入が疑われるため、専門の分析機関に依頼し、その有無を確認する。
昭和47年以前の建築物：ポリサルファイド系コーキング
平成元年以前の製造機器：蛍光灯安定器、コンデンサ、リアクトル、コンデンサ用放電コイル、変圧器(絶縁油中の濃度0.5mg/kg以下のものは対象外)
上記以外においても、PCB混入の恐れがある場合は、監督員と協議の上、確認すること。
6. アスベスト含有建材は、大気汚染防止法の改正(平成26年6月1日施行)に基づき、適正に対応すること。
1. 発生材については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「資源の有効な利用の促進に関する法律」及び「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」その他の関係法令の規定を遵守し「豊橋市建設副産物リサイクルガイドライン実施要綱」(以下「リサイクルガイドライン」という。)に基づき、適正に処理する。
2. 事前に「リサイクルガイドライン」に定める計画書を監督員に提出する。
3. 工事完了時に「リサイクルガイドライン」に定める実施書及び入力した電子データを監督員に提出する。
しない ※ する「リサイクルガイドライン別表3」による。
工事に伴い発生する建設副産物のうち、次のものは再資源化施設へ搬出する。
※コンクリート塊 ※アスファルトコンクリート塊 ※建設発生木材 ※金属くず ・その他()
使用する資材は、リサイクル資材の率先利用を図るため、「愛知県あいくる材率先利用方針」を遵守し、あいくる材として認定されている資材の利用に努める。
1. 4. 1
環境への配慮
1. 4. 2
機材の品質等
1. 5. 7
化学物質の濃度測定
1. 7. 1
完成時の提出図書
1. 7. 2
完成図

重

節・項目

その他

・光熱水費
・事故報告
・工事中の安全管理
・施工体制台帳
・施工体系図
・騒音・振動対策

2. 1. 1
一般事項

火災保険等

建設業通帳査
の
共済制度

工事における工事特性、
創意工夫、社会性等の
実施状況
経費調整

補装切断時の排水処理

建物引き渡しまでの電気・水道・ガス等の料金(基本料金を含む)は、協議の上、各工事受注者が負担する。
工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、事故発生報告書を監督員に速やかに提出すること。
工事中の建築物その他工作物または施設については、東海、東南海地震注意情報が発せられた場合、安全対策を講じた上で、原則として工事を中止するものとする。
建設業法第24条の7第1項の規定により作成した施工体制台帳(同項の規定により記載すべきものとされた事項に変更が生じたことに伴い新たに作成されたものを含む。)の写しを監督員に提出すること。(公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律第15条)
下請負契約を締結する場合においては、下請負金額に関わらず施工体系図を作成し、工事現場の工事関係者が見やすい場所及び公衆が見やすい場所に掲示する。
「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針(建設大臣官房技術審議官通達、昭和51年3月2日)」及び関連法規の規定を厳守し施工する。
足場、作業橋台、仮囲い等は、労働安全衛生法、建築基準法、建設工事公衆災害防止対策要綱(建築工事編)その他関連法令等に従い、適切な材料及び構造のものとし、適切な保守管理を行うこと。(5m以上の構造の足場の組立等の作業を行う場合は、「足場の組立て等作業主任者」を選任すること。)

1. 保険期間は工事資材の現場搬入の日から工事目的物の引渡しの日までとする。(特に定めのない限り、契約上の工事完成期日経過後21日間とする。)
2. 保険の種別は火災保険又は、組立保険(これに準ずるものを含む。)とし、保険金受取人(被保険者)は受注者とする。
受注者の社員のみにより工事施工する場合など、この制度の趣旨に該当しない場合は、その旨を監督員に文書により通知し、建設業共済組合への加入及び掛金取納書を省くことができる。
受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。
同一敷地内、または隣接地の同業種先行工事を受注した者が、本工事を受注した場合の共通費(共通仮設費、現場管理費及び一般管理費)は、契約締結後に当該先行工事で合算した場合の共通費を調整し、減額が生じる場合は本工事にて減額の変更契約を行う。
ブレード冷却水と切削粉が混じり合った排水は、回収し適正に処理することとし、受注者は、その責任において、適正な処理のために必要な産業物情報を把握し、処理業者に提供すること。

① 電気設備工事指定資材

分類	指定資材	適用範囲	品質性能基準
配管・配線	1 電線類	a 全般 J I Sマーク表示品 (J I Sマーク表示品でないものはJ I S・J C S規格適合品) b 高低圧ケーブル J I S・J C S規格適合品 c 通信ケーブル J I S規格適合品 d 耐火、難燃電線 (付)電線総合技術センターにより認定または評定されたもの	
電力設備	2 電線保護物類	a 全般 J I Sマーク表示品 (F E P・P L PについてはJ I S規格適合品)	
	3 配線器具	a コンセント・スイッチ J I Sマーク表示品	
	4 照明器具	a 蛍光灯器具 評価名簿掲載品 b 白熱灯及びH I D器具 (4 a)のメーカー c 蛍光灯安定器 J I Sマーク表示品 (J I Sマーク表示品でないものはJ I S・J E L規格適合品) または評価名簿掲載品 (4 c) d 蛍光灯ランプ J I Sマーク表示品 (4 d) e 白熱電球 J I Sマーク表示品 (4 e) f H I D安定器 J I S規格適合品または評価名簿掲載品 (4 c)に含まれるメーカー g H I Dランプ J I S・J E L規格適合品	
	5 防災用照明器具	a 非常用照明器具 日本照明工業会の評定マークが貼付されたもの b 誘導灯 誘導灯認定委員会の認定証票が貼付されたもの c 全般 評価名簿掲載品	
	6 分電盤・制御盤	a 全般 (一財)日本消防設備安全センターの認定証票が貼付されたもの b 消防設備用制御盤 J I Sマーク表示品 c 電器設備機器 J I Sマーク表示品	
	7 避雷設備	a 電柱(コンクリート柱) J I Sマーク表示品	
	8 外線材料	a キュービクル式配電盤 評価名簿掲載品	
受変電設備	9 キュービクル式配電盤	a 全般 評価名簿掲載品 b 高圧遮断器、負荷開閉器 評価名簿掲載品 (10 a) c 配線用遮断器 J I S規格適合品 (10 b)	
	10 遮断機器	a 全般 評価名簿掲載品	
	11 変圧器	a 低圧コンデンサ J I Sマーク表示品 b 高圧コンデンサ 評価名簿掲載品	
	12 コンデンサ	a 電磁開閉器類、接触器 遮断器類の該当メーカー(10 a、10 b)で製造されたもの	
電力貯蔵設備	13 電磁開閉器類	a 全般 評価名簿掲載品 b 消防設備用 蓄電池設備認定委員会の認定証票が貼付されたもの	
	14 直流電源装置	a 全般 評価名簿掲載品	
充電設備	15 交流無停電電源装置	a 全般 評価名簿掲載品	
通信設備	16 自家発電装置	a 防災用 (一社)日本内燃力発電設備協会の認定証票が貼付されたもの b 全般 評価名簿掲載品	
	17 端子箱	a 全般 評価名簿掲載品	
	18 構内交換機	a 交換機、主装置、電話機 (一財)電気通信端末機器審査協会等の適合マーク及び自己承認マークが貼付されたもの	
	19 非常放送	a 消防設備用 日本消防検定協会の検定合格証票が貼付されたもの	
	20 自動火災報知装置	a 感知器、発信器、中継器、受信機 日本消防検定協会の検定合格証票が貼付されたもの	
	21 非常警報装置	a ベル、表示灯、起動装置 日本消防検定協会の検定合格証票が貼付されたもの	

(注) 1. 「評価名簿掲載品」又は「評価名簿掲載システム」と記載のあるものは、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)の仕様規定及び試験方法に適合すること及び、メンテナンスの体制についての確認を(一社)公共建築協会の「建築材料・設備器材等品質性能評価事業」の評価書の写しを添付させることにより替えることができる。
なお、評価名簿掲載品等でない場合は、標準仕様書の仕様規定及び試験方法に適合することとメンテナンスの体制について文書を提供させ監督員の承諾を得てから使用する。

障害者福祉会館体育館等照明改修工事

平成28年 10月 5日 1 図面番号

特記仕様書・指定資材

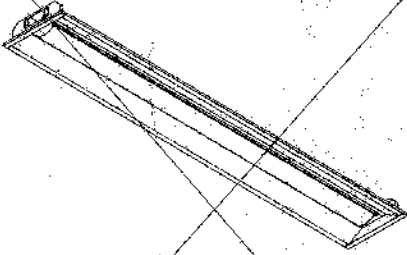
縮 尺 課 長 課長補佐 課長補佐 専門員 主 査 担 当

N/S

豊橋市建設部建築課

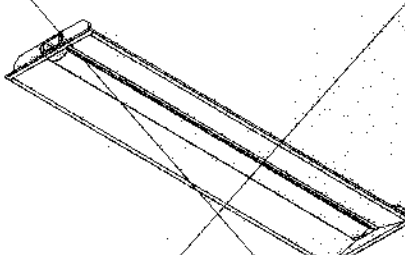
照明器具 姿図

A LED



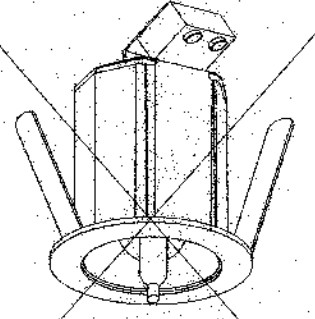
LED一体型LED照明埋込下面開放型 (FH32定格出力×1灯相当)
天井埋込、電源端子台付
2400mm以上
AC100-242V
埋込穴：190×1257
モジュール寿命：40000時間以上

B LED



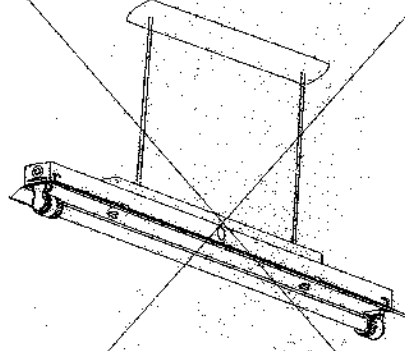
LED一体型LED照明埋込下面開放型 (FH32定格出力×2灯相当)
天井埋込、電源端子台付
3840mm以上
AC100-242V
埋込穴：300×1257
モジュール寿命：40000時間以上

C ハロゲン非常灯



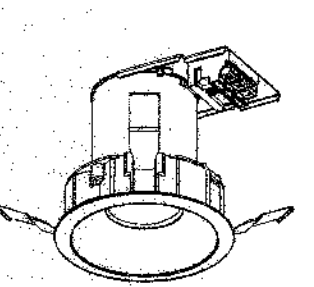
非常用照明器具 埋込型 (電源別置形)
AC100-242V
埋込穴：Φ60

D LED



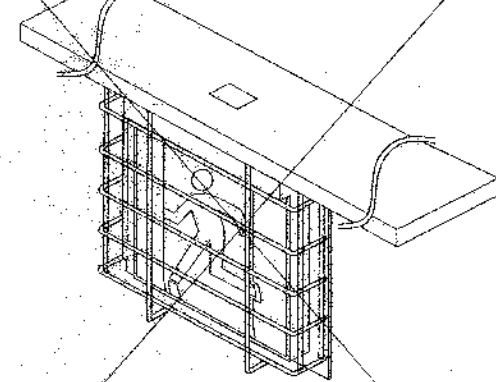
鋼板製防水 (防雨・防湿) 形 直管LEDランプ搭載LED照明
面反射形 (FH32定格出力×1灯相当)
2430mm以上
AC100-242V
モジュール寿命：40000時間以上
パイプ付

E LED



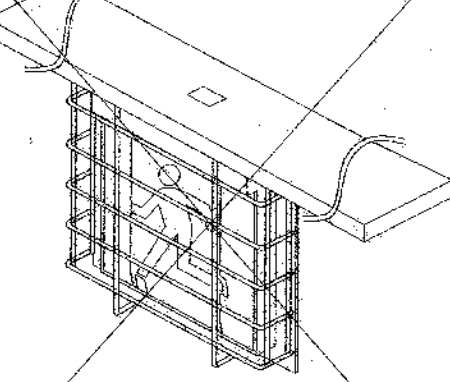
固定出力LEDライト 埋込型 (FHT24相当)
180mm以上
AC100-242V
埋込穴：Φ100
モジュール寿命：40000時間以上

F LED誘導灯



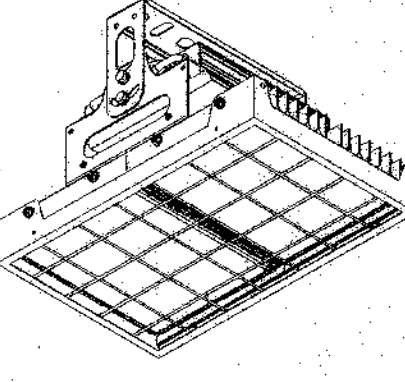
天井直付、吊下、(壁直付) 兼用形
B級・BH形 (20A形)
電源電圧100V
リユ-747プレート付 (40W相当天井付)
壁付変換プレート付
ガード付
SH1-FBF20-BH

G LED誘導灯



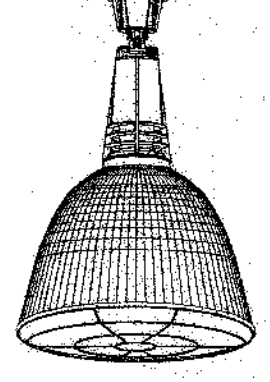
天井直付、吊下、(壁直付) 兼用形
B級・BL形 (20B形)
電源電圧100V
リユ-747プレート付 (20W相当天井付)
壁付変換プレート付
ガード付
SH1-FBF20-BL

H LED



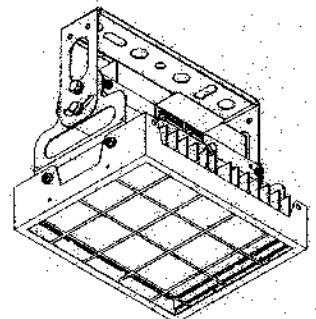
高天井用LED照明器具 電源一体型 クラス3000 (水銀灯700W相当)
3000mm以上
AC100-242V
モジュール寿命：60000時間以上
ガード付

I ランプ IL200W 非常灯電源別置
I' ランプ IL100W 非常灯電源別置



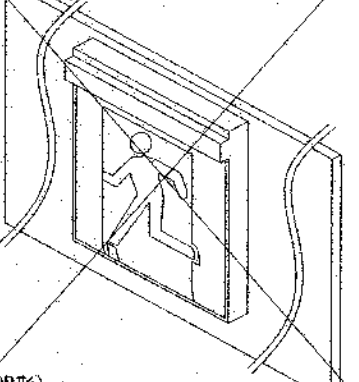
高天井用
I：ランプ 110V 200W
I'：ランプ 110V 100W
配光可変形ガード付
ガード付

J LED



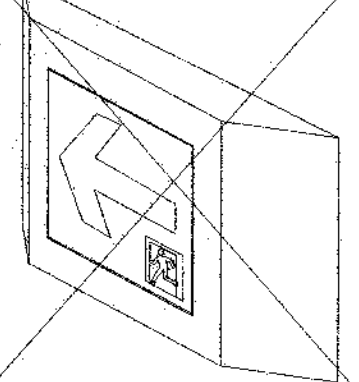
高天井用LED照明器具 電源一体型 クラス1700 (水銀灯400W相当)
1680mm以上
AC100-242V
モジュール寿命：60000時間以上
ガード付

K LED誘導灯



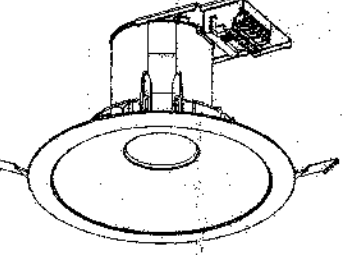
壁直付形
B級・BL形 (20B形)
電源電圧100V
リユ-747プレート付
SH1-FBF20-BL

L LED誘導灯



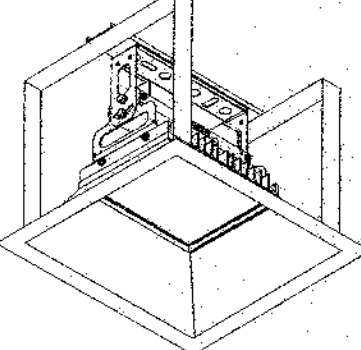
壁埋込形
C級 (10形)
電源電圧100V
リユ-747プレート付
SH1-FBF22-C

M LEDライト



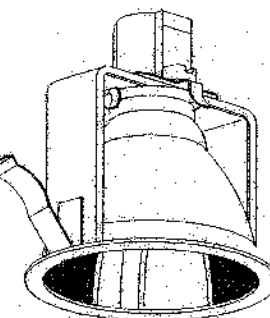
固定出力LEDライト 埋込型 (FHT24相当)
800mm以上
AC100-242V
埋込穴：Φ150
モジュール寿命：40000時間以上

N LED



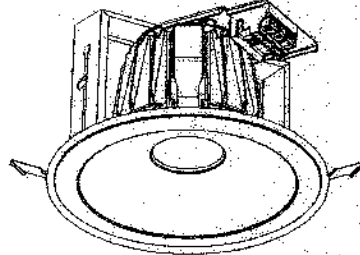
高天井用LED照明器具 電源一体型 クラス1700 (水銀灯400W相当)
1680mm以上
AC100-242V
モジュール寿命：60000時間以上
リユ-747プレート付 埋込穴：□600

N' ハロゲン非常灯



非常用照明器具 埋込型 (電源別置形)
AC100-242V
埋込穴：Φ150

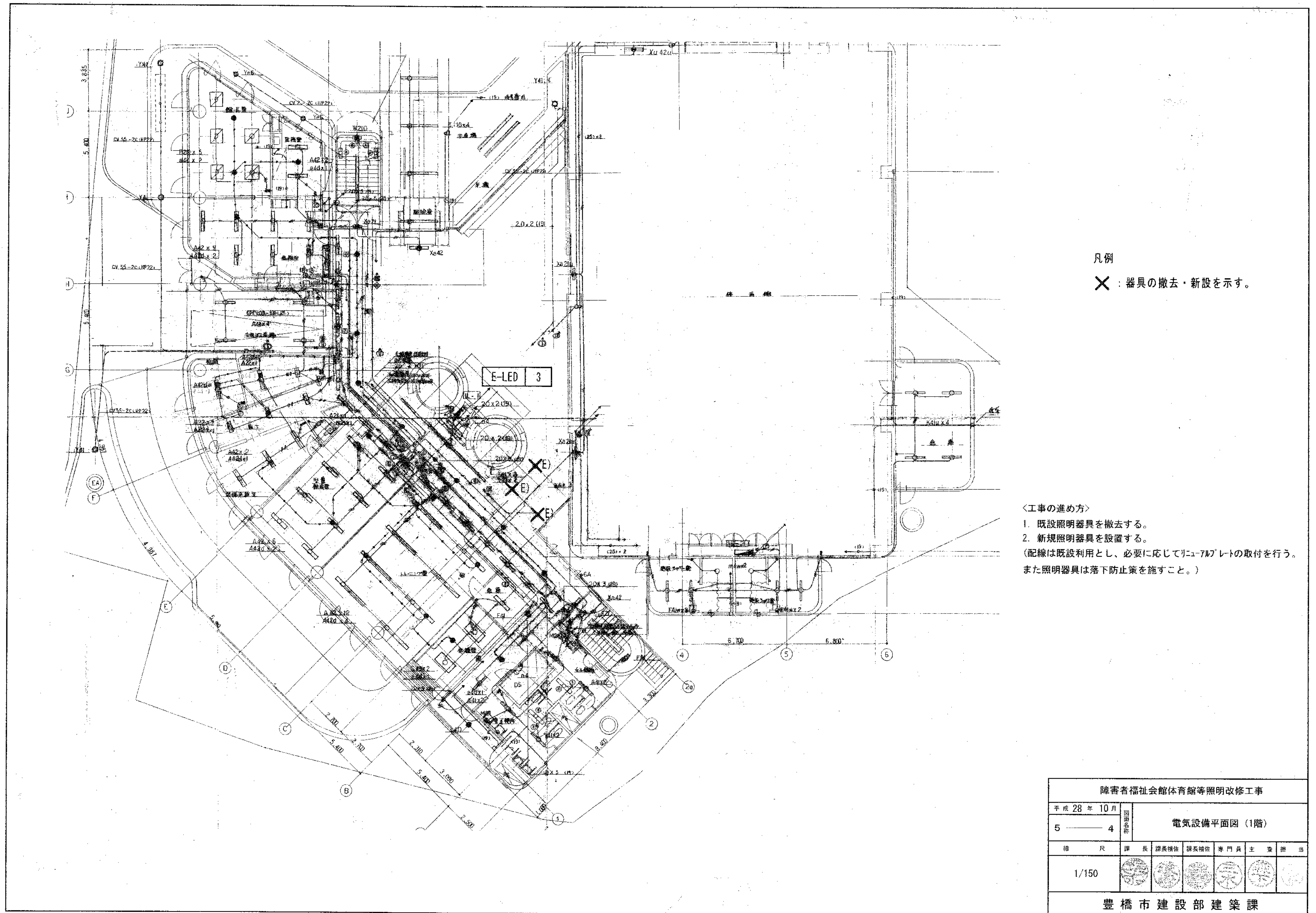
O LEDライト



固定出力LEDライト 埋込型 (FH42相当)
1560mm以上
AC100-242V
モジュール寿命：40000時間以上
埋込穴：Φ175
取付枠付

※姿図及び規格は参考とし、現場にて埋込寸法等確認の上器具を選定し、市監督員の承諾を得るものとする。

障害者福祉会館体育館等照明改修工事									
平成 28 年 10 月		5		3		国連名称			
		照明器具姿図							
縮尺	縦長	縦長補佐	横長補佐	専門員	主査	監査	担当		
N/S									
豊橋市建設部建築課									



凡例

✕：器具の撤去・新設を示す。

＜工事の進め方＞

- 1. 既設照明器具を撤去する。
 - 2. 新規照明器具を設置する。
- （配線は既設利用とし、必要に応じてリニューアルの取付を行う。
また照明器具は落下防止策を施すこと。）

障害者福祉会館体育館等照明改修工事					
平成 28 年 10 月		図 面 番 号	電気設備平面図（1階）		
5	4				
縮 尺	課 長	課長補佐	課長補佐	専 門 員	主 査 担 当
1/150					
豊 橋 市 建 設 部 建 築 課					

